

## 15 慶佐次川河口

### 調査区域状況

本流域は、慶佐次川を主とする流域であり、沖縄本島北部の東村に位置する。河川中流域には、農地が広がっており①、パイナップルやサトウキビや観賞用植物が栽培されている(①)。また、その上部においては河川に砂防ダムが設置されている(ヒアリング等の情報収集により)(②)。砂防ダム上部には泥が堆積しており、降雨時には流出源となる可能性がある。河川上流域付近には、沖縄産業開発青年協会による農地がある。この農地からの流出は、下流にある②の砂防ダムに貯留されると考えられる。

### 流域位置図



### 流域図



②河川中流域の砂防ダム



②砂防ダム直上の滞留泥



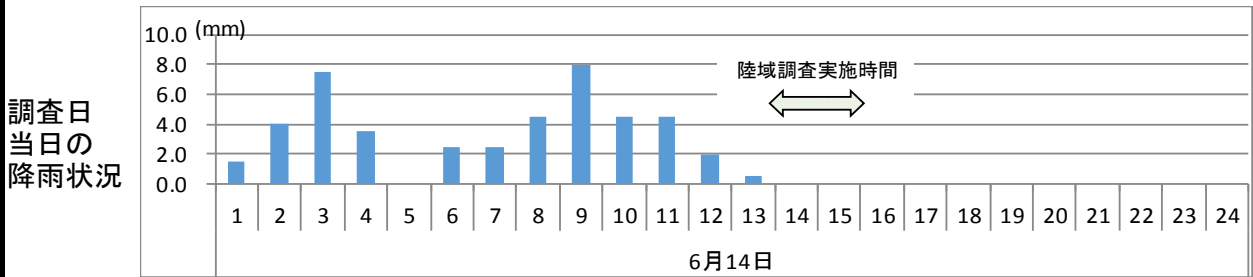
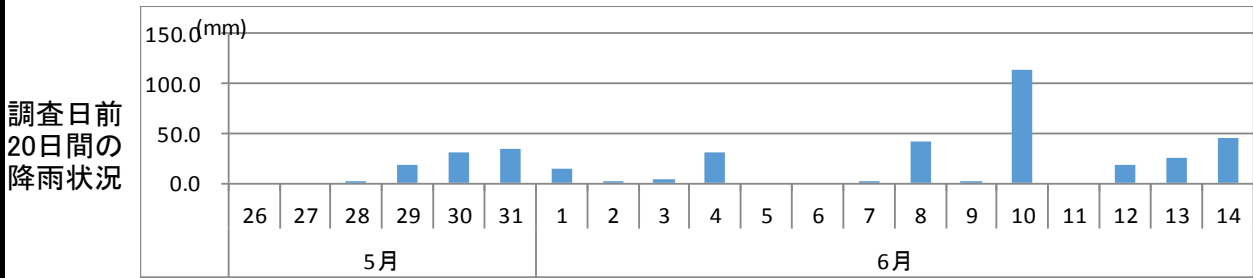
③沖縄産業開発青年協会

\* 衛星写真の撮影日は平成30年4月9日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

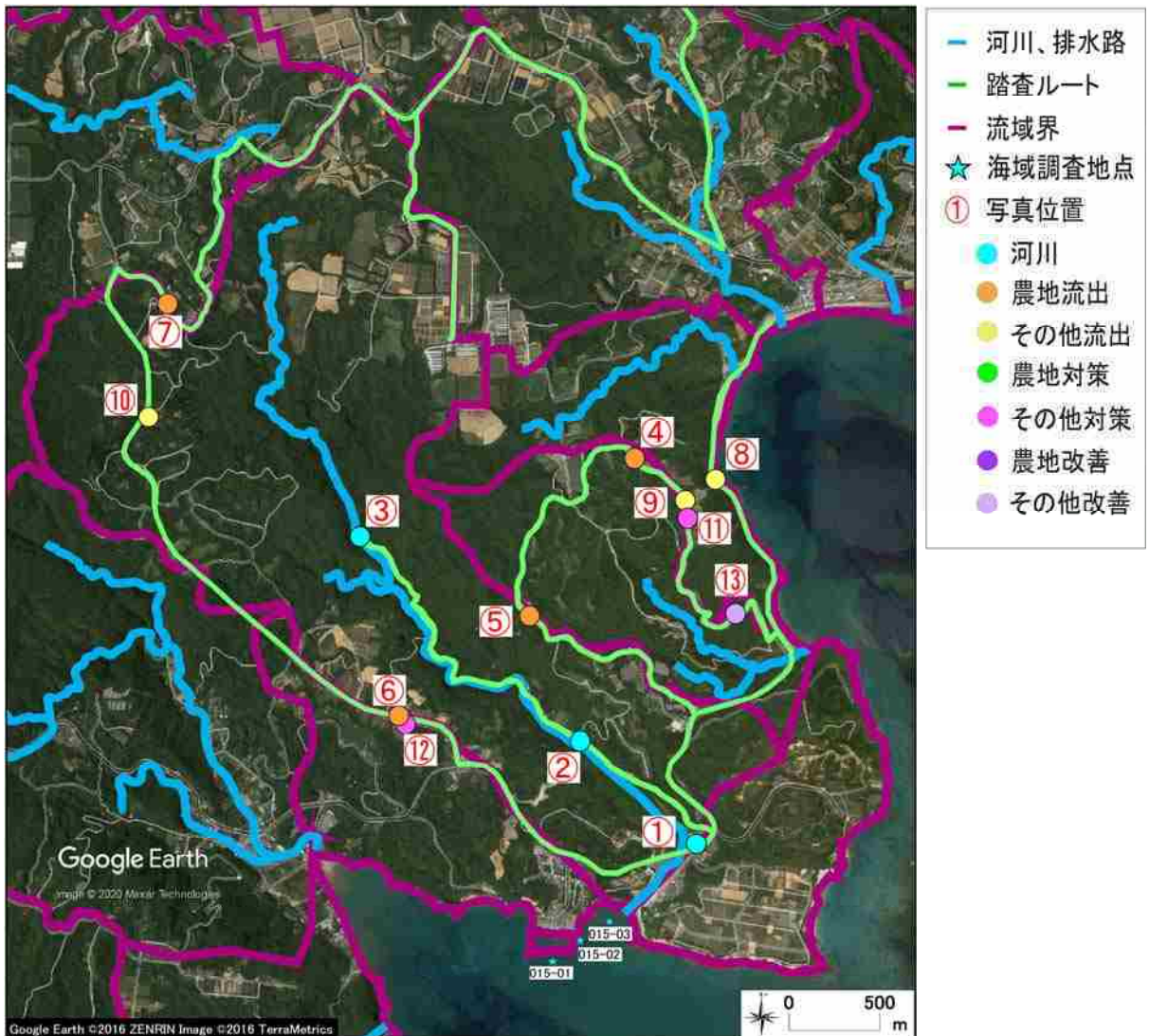
15 慶佐次川河口

第1回調査(令和元年6月14日実施)

降雨状況 東観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成30年4月9日であるため、本調査日令和元年6月14日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|   |
|---|
| <b>15 慶佐次川河口 第1回調査(令和元年6月14日実施)</b>   |
| <b>調査日は、調査前までに45.5mmの降雨があったため、降雨後として調査実施</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は62.8(度)であった。   |
| ② 河川下流域付近にある農業用水路からの流れ込み箇所において、濁りが確認され、濁度は26.3(度)であった。  |
| ③ 地点②の上流にある砂防ダムにおいて、濁りが確認され、濁度は64.9(度)であった。   |
| <b>(2)農地</b>  |
| ④ 調査区域東北側において、農地から道路へ赤土等の流出が確認された。  |
| ⑤ 調査区域中央付近において、休耕地から道路へ赤土等の流出が確認された。  |
| ⑥ 調査区域西側において、農地から側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。  |
| ⑦ 調査区域北西側において、キク畑から道路へ赤土等の流出が確認された。   |
| <b>(3)その他</b>   |
| ⑧ 調査区域東側において、「国道331号災害復旧工事(平成29年災1号)」が行われていた。赤土等に係わる表示は確認されなかった。赤土等の流出は確認されなかった。                              |
| ⑨ 調査区域東側において、造成地が確認された。規模は20×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。   |
| ⑩ 調査区域北西側において、土砂崩れ補修工事が確認された。赤土等に係わる表示は確認されなかった。石積(フンカゴ)の設置やビニルシートでの法面保護による赤土等の流出防止対策が確認されたが、側溝へ赤土等の流出が確認された。 |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑪ 調査区域東側において、土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑫ 調査区域西側にあるチャレンジ農場のパイナップル畑において、グリーンベルトが確認された。   |
| <b>過年度確認地点との比較</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ④ 昨年度と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等が流出していた。  |
| ⑤ 昨年度と比べ変化はなく、休耕地から道路へ赤土等が流出していた。   |
| ⑦ 昨年度と比べ、キク畑には雑草が茂っていたため赤土等の流出量は減少した。   |
| <b>(2)その他</b>   |
| ⑧ 昨年度と比べ、赤土等に係る表示は無くなっていたが、復旧工事は行われているようであった。この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。                                      |
| ⑨ 昨年度と比べ変化はなく、造成地には裸地が目立ち、赤土等の流出防止対策も見られなかったため、赤土等の流出可能性は高いと考えられる。  |
| ⑩ 昨年度と比べ、石積(フンカゴ)が設置されるなど、土砂崩れ箇所の補修工事は進んでいるが側溝に赤土等の流出が確認された。  |
| ⑬ 昨年度と比べ、法面を覆う草本も増え、特に流出痕も確認されないことから、今後この地点から流出はないと考えられる。   |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑪ 昨年度と比べ変化はなく、土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑫ 昨年度と比べ変化はなく、グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策が確認された。   |



15 慶佐次川河口 第1回調査(令和元年6月14日実施)

調査日は、調査前までに45.5mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 採水状況<br>(濁度62.8(度))   | ② 農業用水路からの流れ込み箇所(濁り有り)  |
|    |    |    |
| ② 流れ込む水路の状況<br>(濁り有り)   | ② 採水状況<br>(濁度26.3(度))   | ③ 地点②の上流にある砂防ダムの状況(濁り有り)  |
|   |   |   |
| ③ 採水状況<br>(濁度64.9(度))   | ④ 農地から道路へ赤土等の流出状況   | ④ 昨年度の状況  |
|  |  |  |
| ⑤ 休耕地から道路へ赤土等の流出状況  | ⑤ 昨年度の状況  | ⑥ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出状況   |
|  |  |  |
| ⑦ キク畑から道路へ赤土等の若干の流出痕状況  | ⑦ 昨年度の状況  | ⑧ 災害復旧工事の状況<br>(流出なし)   |

15 慶佐次川河口 第1回調査(令和元年6月14日実施)

調査日は、調査前までに45.5mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

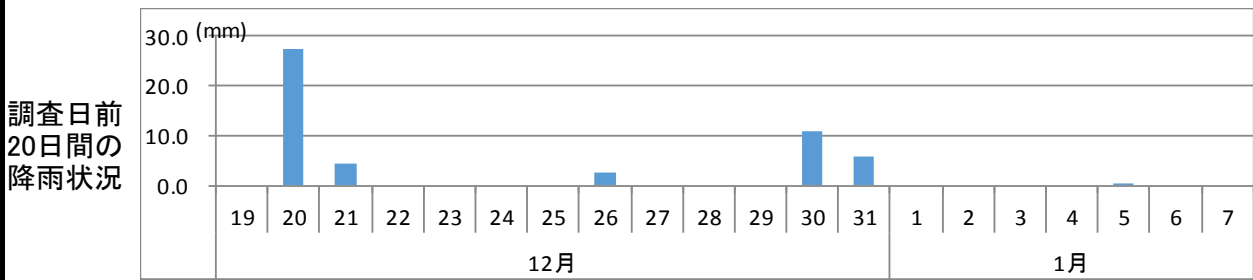
|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| <p>⑧ 昨年度の状況</p>   | <p>⑨ 造成地の状況</p>   | <p>⑨ 昨年度の状況</p>   |
|    |    |    |
| <p>⑩ 土砂崩れ箇所から側溝へ赤土等の流出状況</p>  | <p>⑩ 土砂崩れ箇所から側溝へ赤土等の流出状況</p>  | <p>⑩ 昨年度の状況</p>   |
|   |   |   |
| <p>⑪ 土のうによる赤土等の流出防止対策</p>   | <p>⑪ 昨年度の状況</p>   | <p>⑫ 草本によるグリーンベルトの状況</p>  |
|  |  |  |
| <p>⑫ 昨年度の状況</p>   | <p>⑬ 山部法面の状況(流出なし)</p>  | <p>⑬ 昨年度の状況</p>   |
|   |   |   |
|   |   |   |



15 慶佐次川河口

第2回調査(令和2年1月7日実施)

降雨状況 東観測所



調査日  
当日の  
降雨状況

当日の降雨は確認されなかった。

調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成30年4月9日であるため、本調査日令和2年1月7日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

15 慶佐次川河口 第2回調査(令和2年1月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 河川下流域付近にある農業用水路からの流れ込み箇所において、濁りは確認されなかった。
- ③ 砂防ダムにおいて、濁りは確認されなかったが、上流には泥が溜まっている様子であった。
- ④ 地点③の上流にある砂防ダムにおいて、濁りは確認されなかった。

(2)農地

- ⑤ 調査区域東側において、裸地の目立つ赤土等の流出可能性の高い農地が確認された。
- ⑥ 調査区域東北側において、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑦ 調査区域中央付近において、休耕地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 調査区域北西側において、キク畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。

(3)その他

- ⑨ 調査区域東側において、「国道331号災害復旧工事(平成29年災1号)」が行われていた。赤土等に係る表示は確認されなかった。
- ⑩ 調査区域東側において、造成地が確認された。規模は20×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。なお、ベチバーによるグリーンベルトが新たに確認された。
- ⑪ 調査区域西側において、「汀間川改修工事(R1-1)」「大保川改修工事(R1-1)」の共同残土置き場が確認された。規模は40×20m程度で、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。残土にはビニルシート等による赤土等の流出防止対策が施されていた。
- ⑫ 調査区域北西側において、民間事業Aが確認された。規模は6,258.38㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 調査区域東側において、土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑭ 調査区域西側にあるチャレンジ農場のパイナップル畑において、グリーンベルトが確認された。

第1回確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑥ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑦ 前回と比べ変化はなく、休耕地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑧ 前回と比べ変化はなく、キク畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑮ 前回と比べ、農地から道路へ赤土等の流出は確認されなかった。

(2)その他

- ⑨ 前回と比べ、赤土等に係る表示は無いものの、復旧工事は継続中であった。赤土等の流出の可能性は低いと考えられる。
- ⑩ 前回と比べ、造成地には未だ裸地が目立つものの、周辺は草本に覆われ、グリーンベルトも施されているため、今後この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。
- ⑯ 前回と比べ、土砂崩れ補修工事は完了しており、土砂崩れ箇所の裸地は吹付工により草本に覆われていた。今後この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑬ 前回と比べ変化はなく、土のうによる赤土等の流出防止対策が確認された。
- ⑭ 前回と比べ変化はなく、グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策が確認された。



15 慶佐次川河口 第2回調査(令和2年1月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況(濁りなし)  | ② 農業用水路からの流れ込み箇所(濁りなし)  | ② 流れ込む水路の状況(濁りなし)   |
|    |    |    |
| ③ 砂防ダムの状況(濁りなし、泥が溜まる)   | ③ 砂防ダムの状況(濁りなし、泥が溜まる)   | ④ 地点③より上流にある砂防ダムの状況   |
|   |   |   |
| ⑤ 裸地の目立つ農地の状況   | ⑥ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況  | ⑥ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑦ 休耕地から道路へ赤土等の流出痕状況   | ⑦ 前回の状況   | ⑧ キク畑から道路へ赤土等の流出痕状況   |
|  |  |  |
| ⑧ 前回の状況   | ⑨ 災害復旧工事の状況(流出なし)   | ⑨ 災害復旧工事の状況(流出なし)   |



15 慶佐次川河口 第2回調査(令和2年1月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑨ 前回の状況   | ⑩ 造成地の状況  | ⑩ 前回の状況   |
|    |    |    |
| ⑪ 赤土等流出防止条例に係わる表示   | ⑪ 赤土等流出防止条例に係わる表示   | ⑪ 残土置き場の状況  |
|   | 個人情報に該当するため<br>非表示とした   |   |
| ⑪ 残土置き場の状況  | ⑫ 赤土等流出防止条例に係わる表示   | ⑫ 工事現場の状況   |
|  |  |  |
| ⑫ 工事現場の状況   | ⑬ 土のうによる赤土等の流出防止対策  | ⑬ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑭ 草本によるグリーンベルトの状況   | ⑭ 前回の状況   | ⑮ 農地の状況<br>(流出なし)   |

15 慶佐次川河口 第2回調査(令和2年1月7日実施)

調査日には降雨量が0mmであったため 平常時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>⑮ 前回の状況</p>  | <p>⑯ 土砂崩れ箇所の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑯ 土砂崩れ箇所の状況<br/>(流出なし)</p>   |
|  |  |   |
| <p>⑯ 前回の状況</p>  | <p>⑯ 前回の状況</p>  |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |



43 漢那中港川河口

流域内状況

本流域は、漢那中港川を主とする流域であり、沖縄本島中部の宜野座村に位置する。

流域内の農地は、「水質保全対策事業(耕土流出防止型)」や「農地環境整備事業」の対象区域であり(①)、重点的に赤土等の流出防止対策が進められている。

なお、河川には、「水質保全対策事業」による堰があり(ヒアリング等による情報収集により)(②)、直接的に土砂が下流に流出しないようになっている。

流域位置図

沖縄本島



流域図



①水質保全対策事業



①農地環境整備事業



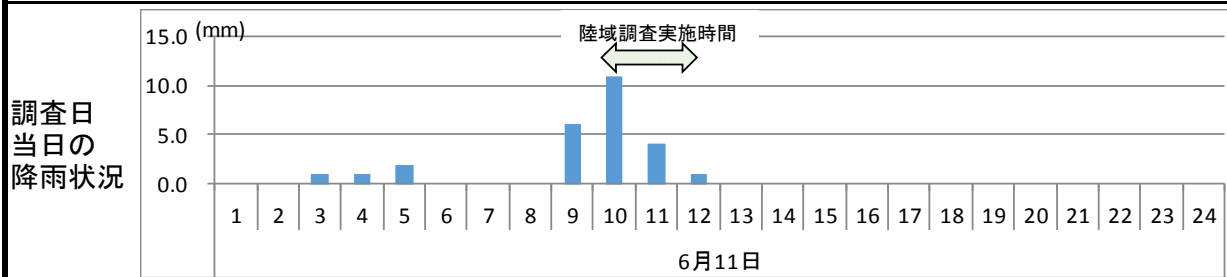
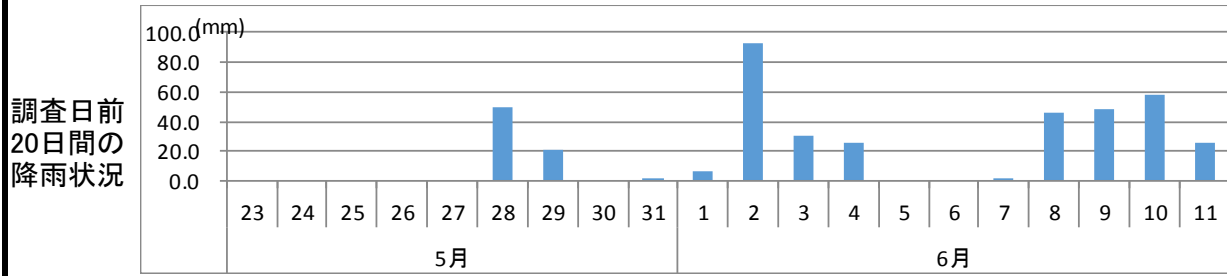
②堰(水質保全対策事業による)  
平成30年度浚渫等整備済

\* 衛星写真の撮影日は 令和元年5月26日 であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

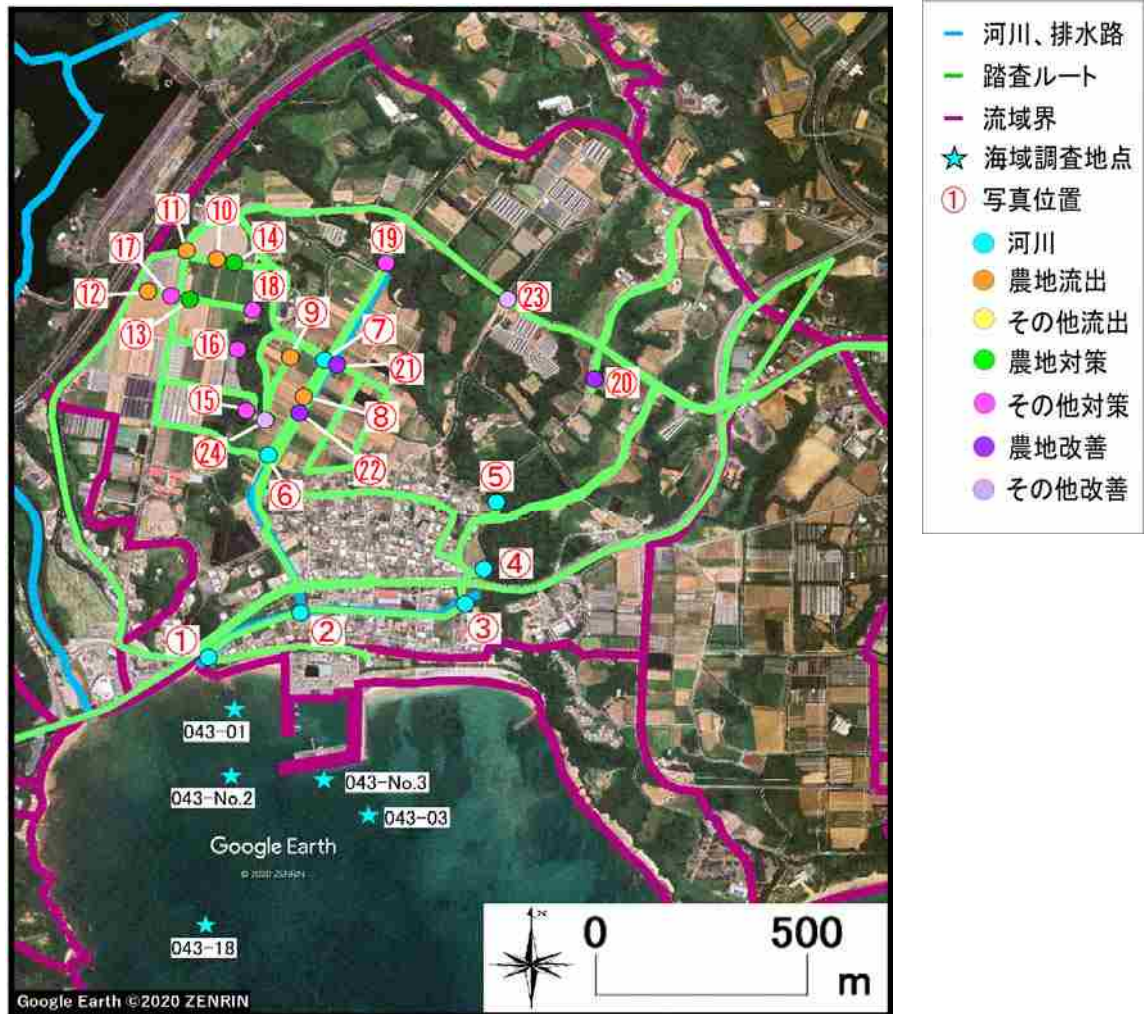
43 漢那中港川河口

第1回調査(令和元年6月11日実施)

降雨状況 漢那ダム観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、令和元年5月26日であるため、本調査日令和元年6月11日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



|  |
|--|
| <b>43 漢那中港川河口 第1回調査(令和元年6月11日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨量が26mmであったため 降雨時 として調査実施</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)河口、河川</b>  |
| ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は101.0(度)であった。   |
| ② 東側支川と北側支川の合流地点において、濁りが確認された。北側支川から流入する濁水のほうがより強い濁りであった。  |
| ③ 東側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は91.3(度)であった。  |
| ④ 東側支川中流域において、濁りが確認され、濁度は110.0(度)であった。   |
| ⑤ 東側支川上流域において、濁りが確認され、濁度は50.2(度)であった。  |
| ⑥ 北側支川中流域において、強い濁りが確認され、濁度は174.0(度)であった。   |
| ⑦ 北側支川上流域において、北西側農地から続く水路との合流地点から濁水が流れ込む状況が確認された。濁度は219.0(度)であった。濁りの原因は地点⑩や⑪の農地と考えられる。                                     |
| <b>(2)農地</b>   |
| ⑧ 流域内中央付近において、農地から道路や河川へ赤土等の流出が確認された。  |
| ⑨ 流域内中央付近において、キク畑から側溝へ濁水が流出しており、濁度は324.0(度)であった。   |
| ⑩ 流域内北西側において、農地に濁水が滞留しており、赤土等の流出可能性の高い状態が確認された。  |
| ⑪ 流域内北西側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。   |
| ⑫ 流域内北西側において、サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。   |
| <b>流出防止対策等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑬ 流域内西側の裸地において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑭ 流域内北西側において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、農地から側溝へ若干の濁水の流出が確認された。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑮ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。調査時にオーバーフローはなかったものの、ほぼ満水に近い状態であった。   |
| ⑯ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は29.2(度)であった。  |
| ⑰ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローの状況は不明であった。   |
| ⑱ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしていた。   |
| ⑲ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は61.0(度)であった。  |
| <b>過年度確認地点との比較</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑨ 昨年度と比べ変化はなく、農地から赤土等が流出していた。  |
| ⑳ 昨年度と比べ、新たな作付が行われ、マルチングなどの赤土等流出防止対策は施されていないかったものの、赤土等の流出は確認されなかった。  |
| ㉑ 昨年度に赤土等の流出が確認されたサトウキビ畑において、今回流出は確認されなかった。  |
| ㉒ 昨年度に赤土等の流出が確認されたキク畑において、今回流出は確認されなかった。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ㉓ 昨年度、流域内北側において確認された「村道赤平腺道路改良工事」は工事が完了していた。裸地には砂利が敷かれ、道路上にも赤土等の流出は確認されなかったため、今後赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。                      |
| ㉔ 昨年度と比べ、⑯の沈砂池から流出した濁水の流れ込みは確認されなかった。  |
| <b>流出防止対策等</b>   |
| <b>(1)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑭ 昨年度、流域内北西側において確認された「宜野座村第5地区土砂流出防止対策工事(H30-1工区)」は工事が完了していた。工事により勾配修正が施された農地や沈砂池が造成されており、今後の流出防止効果が期待される。                 |
| ⑲ 他業務より、昨年度12月に本沈砂池は浚渫等整備が行われていたとの情報があり、今回までにその整備は完了しているようであった。なお、今回は調査日を含め4日間にわたり連日20mm以上の降雨が継続していたことから、濁水のオーバーフローが確認された。 |

43 漢那中港川河口 第1回調査(令和元年6月11日実施)

調査日には降雨量が26mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 採水の状況<br>(濁度101.0(度))   | ② 東側支川と北側支川の合流地点の状況(北側支川が強く濁る)  |
|    |    |    |
| ③ 東側支川中流域の状況<br>(濁り有り)  | ③ 採水の状況<br>(濁度91.3(度))  | ④ 東側支川中流域の状況<br>(濁り有り)  |
|   |   |   |
| ④ 採水の状況<br>(濁度110.0(度))   | ⑤ 東側支川上流域の状況<br>(濁り有り)  | ⑤ 採水の状況<br>(濁度50.2(度))  |
|  |  |  |
| ⑥ 北側支川中流域の状況<br>(濁り少)   | ⑥ 採水の状況<br>(濁度174.0(度))   | ⑦ 北側支川上流域の状況<br>(濁り有り)  |
|  |  |  |
| ⑦ 採水の状況<br>(濁度219.0(度))   | ⑧ サトウキビ畑から道路や水路へ赤土等の流出状況  | ⑨ キク畑から濁水の流出状況  |



43 漢那中港川河口 第1回調査(令和元年6月11日実施)

調査日には降雨量が26mmであったため 降雨時 として調査実施



⑨ 採水の状況  
(濁度324.0(度))

⑨ 昨年度の状況

⑩ 赤土等の流出可能性の高い農地の状況



⑪ 農地から道路へ赤土等の流出状況



⑫ 農地から側溝や道路へ赤土等の流出状況



⑬ 勾配修正による赤土等の流出防止対策



⑬ 昨年度の状況



⑭ 勾配修正による赤土等の流出防止対策



⑭ 昨年度の状況  
(造成工事中)



⑭ 昨年度の状況



⑮ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)



⑯ 沈砂池の状況  
(オーバーフロー有り)



⑯ オーバーフローの状況  
(濁度29.2(度))



⑰ 沈砂池の状況  
(オーバーフロー不明)



⑱ 沈砂池の状況  
(オーバーフロー有り)

43 漢那中港川河口 第1回調査(令和元年6月11日実施)

調査日には降雨量が26mmであったため 降雨時 として調査実施

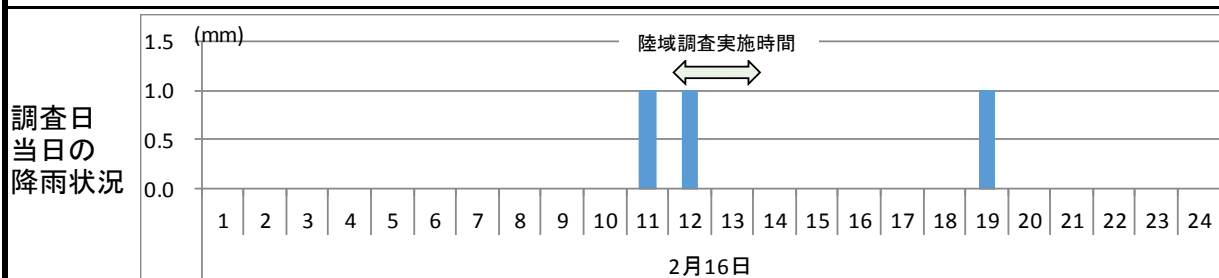
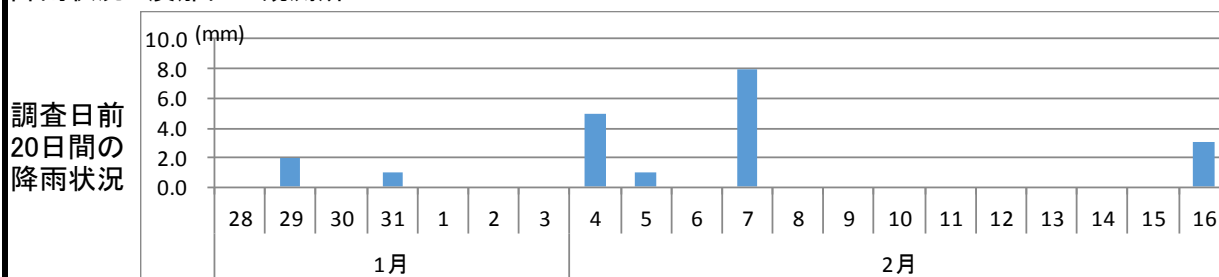
|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑱ 沈砂池の状況  | ⑱ オーバーフローの状況  | ⑱ 採水の状況<br>(濁度61.0(度))  |
|    |    |    |
| ⑲ 浚渫等整備後の状況<br>(平成30年12月撮影)   | ⑳ サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)   | ⑳ 昨年度の状況  |
|   |   |   |
| ㉑ サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)   | ㉑ 昨年度の状況  | ㉒ キク畑の状況<br>(流出なし)  |
|  |  |  |
| ㉒ 昨年度の状況  | ㉓ 工事現場の状況<br>(工事完了)   | ㉓ 昨年度の状況  |
|  |  |   |
| ㉔ 地点⑱の崖下の水路の状況  | ㉔ 昨年度の状況  |   |



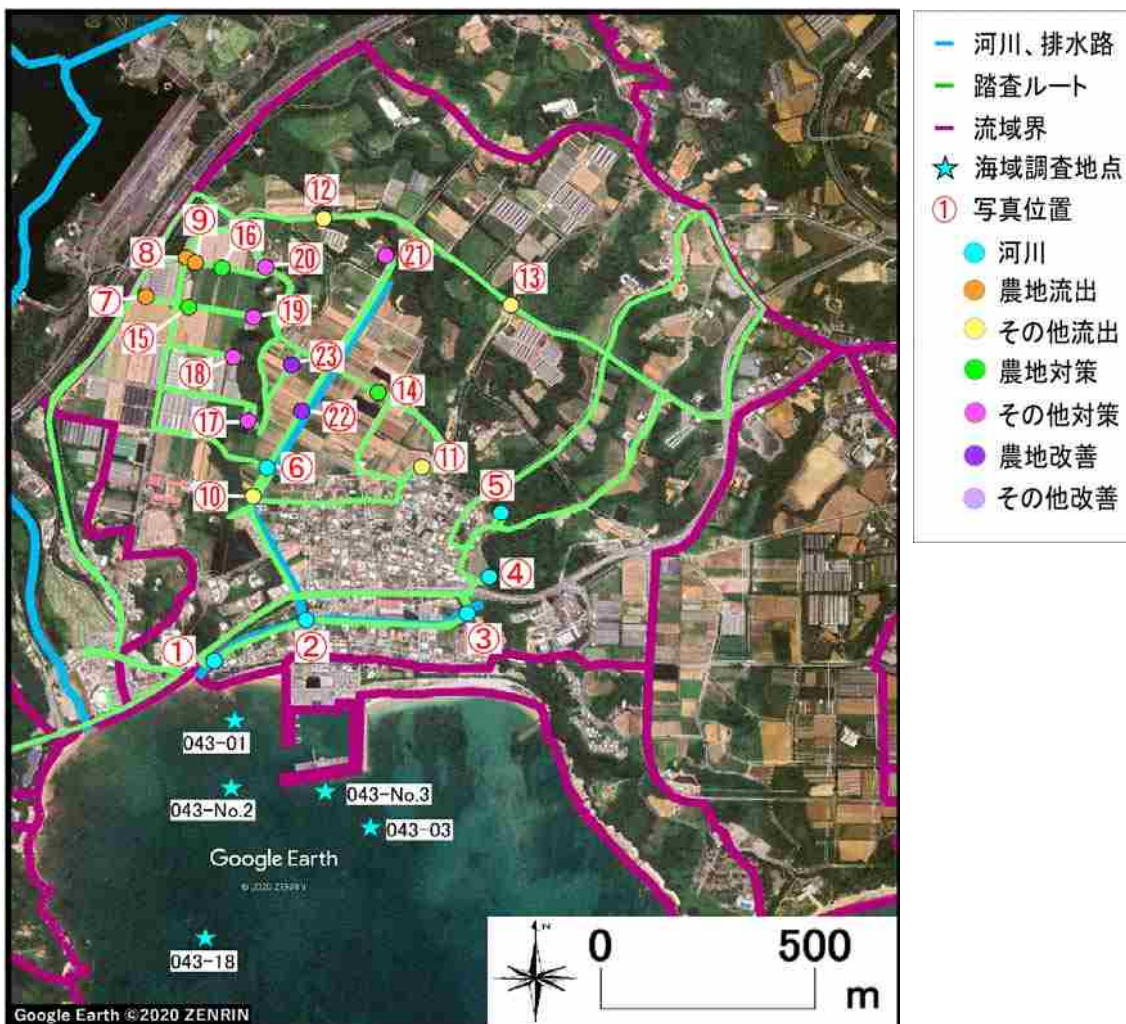
43 漢那中港川河口

第2回調査(令和2年2月16日実施)

降雨状況 漢那ダム観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、令和元年5月26日であるため、本調査日令和2年2月16日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|  |
|--|
| <b>43 漢那中港川河口 第2回調査(令和2年2月16日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨があったが3mmであったため 平常時 として調査実施</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)河口、河川</b>  |
| ① 河口域において、濁りは確認されなかった。   |
| ② 東側支川と北側支川の合流地点において、濁りは確認されなかった。  |
| ③ 東側支川中流域において、濁りは確認されなかった。   |
| ④ 東側支川中流域において、濁りは確認されなかった。   |
| ⑤ 東側支川上流域において、濁りは確認されなかった。   |
| ⑥ 北側支川中流域において、濁りは確認されなかった。   |
| <b>(2)農地</b>   |
| ⑦ 流域内北西側において、サウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。   |
| ⑧ 流域内北西側において、農地から道路や側溝へ赤土等の流出痕が確認された。  |
| ⑨ 流域内北西側において、裸地の目立つサウキビ畑が確認された。  |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑩ 流域内中央付近において、「宜野座村第5地区土砂流出防止対策工事(R1-1)」による沈砂池造成が確認された。規模は10×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。完成後は赤土等の流出防止機能が期待される。 |
| ⑪ 流域内中央付近において、「村道赤平線道路改良工事(1工区)」が確認された。規模は不明であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。  |
| ⑫ 流域内北側において、「垣之外地区水質保全対策工事(2工区)」による沈砂池造成が確認された。規模は10×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。完成後は赤土等の流出防止機能が期待される。         |
| ⑬ 流域内北東側において、「村道赤平線道路改良工事(2工区)」が確認された。規模は2,800mであり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。過年度にこの地点において確認されていた工事が完了後、次の工事が行われていた。      |
| <b>流出防止対策等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑭ 流域内中央付近の農地において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑮ 流域内北西側において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑯ 流域内北西側において、勾配修正による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑰ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。  |
| ⑱ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。  |
| ⑲ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。  |
| ⑳ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。  |
| ㉑ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。  |
| <b>第1回確認地点との比較</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑦ 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。  |
| ⑧ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等の流出痕が確認された。   |
| ⑨ 前回と比べ、農地にはサウキビが作付されており、裸地は減ったものの、側溝周辺には1mほどの裸地が残っていたため、赤土等の流出可能性は依然として高い状態であると考えられる。                               |
| ㉒ 前回と比べ、農地には盛土とマルチングで外周が囲われるなど赤土等流出防止対策が施されていた。  |
| ㉓ 前回と比べ、キク畑は休耕地となっており、赤土等の流出は確認されなかった。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑮、⑯ 前回と比べ変化はなく、農地に勾配修正による赤土等流出防止対策が施されていた。   |



43 漢那中港川河口 第2回調査(令和2年2月16日実施)

調査日には降雨があったが3mmであったため 平常時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁りなし)  | ② 東側支川と北側支川の合流地点の状況(濁りなし)   | ③ 東側支川中流域の状況<br>(濁りなし)  |
|    |    |    |
| ④ 東側支川中流域の状況<br>(濁りなし)  | ⑤ 東側支川上流域の状況<br>(濁りなし)  | ⑥ 北側支川中流域の状況<br>(濁りなし)  |
|   |   |   |
| ⑦ 農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況   | ⑦ 農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況   | ⑦ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑧ 農地から道路へ赤土等の若干の流出状況  | ⑧ 前回の状況   | ⑨ 赤土等の流出可能性の高いサトウキビ畑の状況   |
|  |  |  |
| ⑨ 前回の状況   | ⑩ 水質保全対策工事の状況   | ⑩ 水質保全対策工事の状況   |

43 漢那中港川河口 第2回調査(令和2年2月16日実施)

調査日には降雨があったが3mmであったため 平常時 として調査実施



|                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 沖縄県赤土等流出防止条例に係わる表示 |                     |
| 工事名                | 村道赤平線道路改良工事(2工区)    |
| 通知書番号              | 中部保第2-31150号        |
| 通知年月日              | 令和元年10月8日           |
| 工事面積               | 2,800㎡              |
| 工事期間               | 令和元年9月20日～令和2年2月17日 |
| 管理者名               | 南盛建設 仲間 薫           |
| 残土処理場所在地           | 宜野座村字松田地内           |

⑪ 道路整備工事の状況

⑫ 水質保全対策工事の状況

⑬ 赤土等流出防止条例に係わる表示



⑬ 工事現場の状況

⑬ 工事現場の状況

⑭ マルチングによる赤土等の流出防止対策



⑮ 勾配修正による赤土等の流出防止対策

⑮ 前回の状況

⑯ 勾配修正による赤土等の流出防止対策



⑯ 前回の状況

⑰ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)

⑱ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)



⑲ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)







⑳ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)

㉑ 沈砂池の状況  
(オーバーフローなし)



43 漢那中港川河口 第2回調査(令和2年2月16日実施)

調査日には降雨があったが3mmであったため 平常時 として調査実施

|  |   |   |
|--|---|---|
|   |  |  |
| ②① 沈砂池横の水路の状況  | ②② サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)  | ②② サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)  |
|   |  |  |
| ②② 前回の状況   | ②③ キウキ畑の状況<br>(流出なし)  | ②③ キウキ畑の状況<br>(流出なし)  |
|  |   |   |
| ②③ 前回の状況   |   |   |
|  |   |   |
|  |   |   |
|  |   |   |
|  |   |   |
|  |   |   |
|  |   |   |

53 池味地先

流域内状況

本流域は、沖縄本島中部のうるま市にある宮城島に位置する。流域内東側には、「土地改良区」(①)による、また西側には「県営農地保全整備事業」(②)による農地が広がっている。農地では主にサトウキビが栽培されている。

流域位置図



流域図



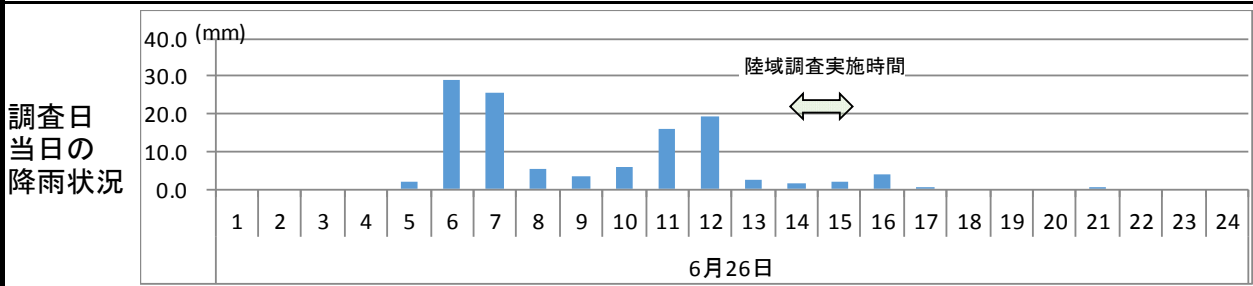
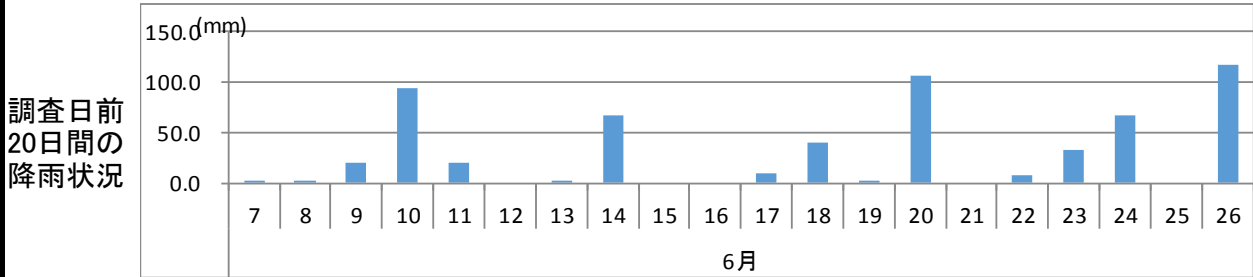
\* 衛星写真の撮影日は 令和元年4月7日 であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



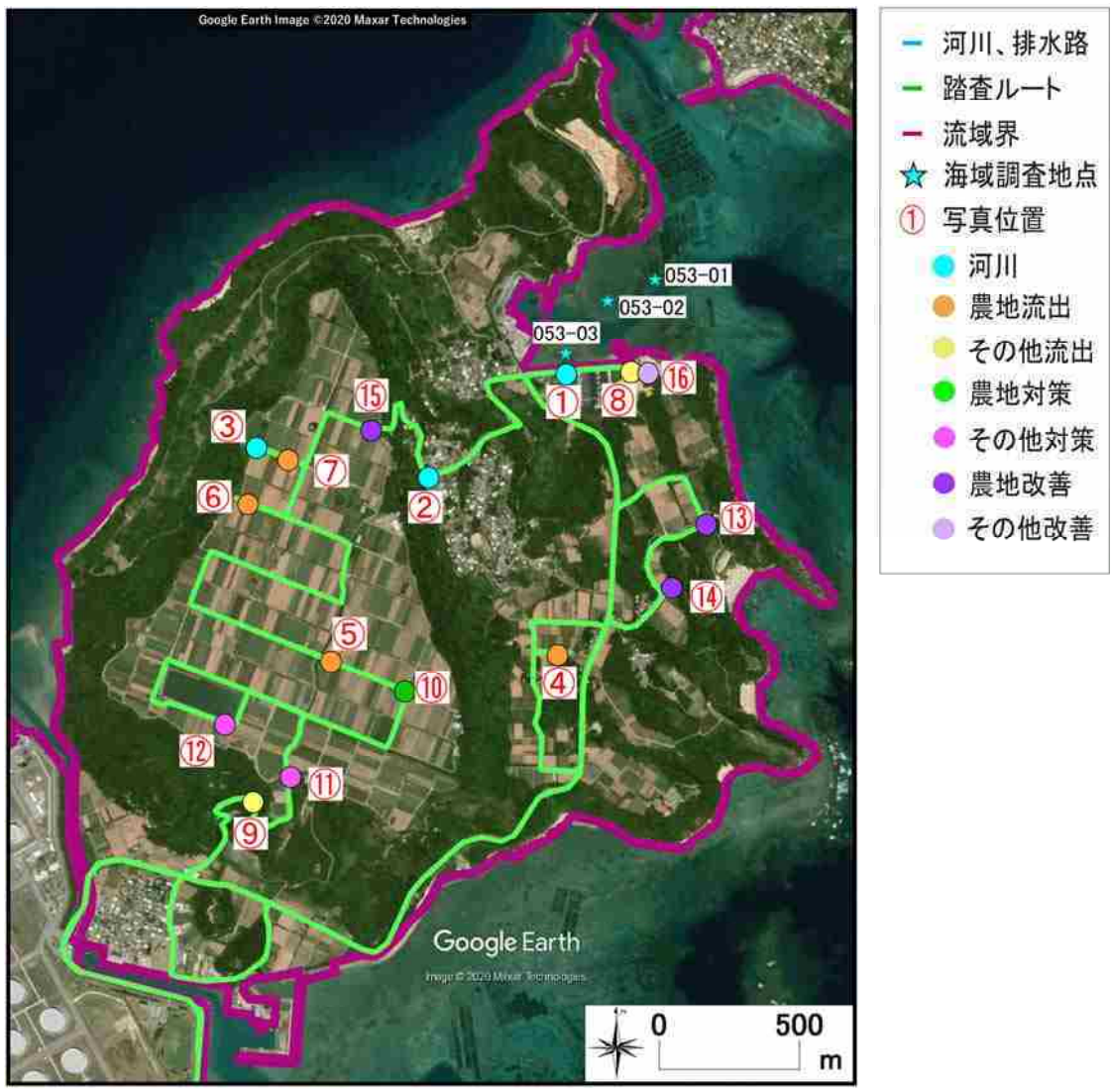
53 池味地先

第1回調査(令和元年6月26日実施)

降雨状況 宮城島観測所



調査図





\* 衛星写真の撮影日は、平成31年4月7日であるため、本調査日令和元年6月26日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|   |
|---|
| <b>53 池味地先 第1回調査(令和元年6月26日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨量が118 mmであったため 降雨時 として調査実施</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は9.2(度)であった。  |
| ② 流域内北側において、与那城町文化財指定「ヤンガー(建造物)」が確認された。ヤンガー内にある湧水に濁りは確認されなかった。                                      |
| ③ 流域内西側の水路において、濁りは確認され、濁度は35.9(度)であった。  |
| <b>(2)農地</b>  |
| ④ 流域内東側において、サトウキビ畑から水路へ濁水の流出が確認され、濁度は90.0(度)であった。   |
| ⑤ 流域内中央付近において、サトウキビ畑から水路へ濁水の流出が確認され、濁度は79.8(度)であった。   |
| ⑥ 流域内西側において、農地から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。   |
| ⑦ 流域内西側において、農地から水路や道路へ濁水の流出が確認され、濁度は24.8(度)であった。  |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑧ 流域内北東側において、民間事業Aが行われていた。規模は11,708㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。現場には赤土等流出防止対策が特にみられなかったが、流出はないようであった。 |
| ⑨ 流域内南側において、山側から道路へ濁水の流出が確認されたが、濁りは薄かった。  |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑩ 流域内中央付近の農地において、グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑪ 流域内南側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は20.1(度)であった。   |
| ⑫ 流域内西側において、貯水池が確認された。オーバーフローしており、濁度は19.6(度)であった。   |
| <b>過年度確認地点との比較</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑤ 昨年度と比べ、マルチングが継続されていたものの、サトウキビ畑からは濁水が流出していた。   |
| ⑥ 昨年度と比べ変化はなく、道路へ赤土等の流出確認された。   |
| ⑬ 昨年度と比べ、道路に流出痕が残っているものの今回の降雨では流出は見られなかったため、今後この地点からの流出の可能性は低いと考えられる。                               |
| ⑭,⑮ 昨年度と比べ、農地から赤土等の流出は特に見られなかったため、今後この地点からの流出の可能性は低いと考えられる。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑧ 昨年度と比べ変化はなく、民間事業Aが継続していた。   |
| ⑯ 昨年度と比べ、工事は完了していた。裸地等は確認されないため、今後この場所からの流出はないと考えられる。   |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑩ 昨年度と比べ変化はなく、グリーンベルトによる赤土等流出防止対策が施されていた。   |

53 池味地先 第1回調査(令和元年6月26日実施)





調査日には降雨量が 118 mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 採水の状況<br>(濁度9.2(度))   |
|    |    |    |
| ② 与那城町文化財指定 ヤン<br>ガー(建造物)の状況  | ③ 西側水路の状況<br>(濁り有り)   | ③ 採水の状況<br>(濁度35.9(度))  |
|   |   |   |
| ④ サトウキビ畑から水路へ赤<br>土等の流出状況   | ④ 採水の状況<br>(濁度90.0(度))  | ⑤ サトウキビ畑から水路へ赤<br>土等の流出状況   |
|  |  |  |
| ⑤ 採水の状況<br>(濁度79.8(度))  | ⑤ 昨年度の状況  | ⑥ 農地から道路へ赤土等の<br>流出状況   |
|  |  |  |
| ⑥ 昨年度の状況  | ⑦ 農地から水路へ赤土等の<br>流出状況   | ⑦ 採水の状況<br>(濁度24.8(度))  |



53 池味地先 第1回調査(令和元年6月26日実施)

調査日には降雨量が 118 mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
| <p>個人情報に該当するため<br/>非表示とした</p>   |    |    |
| <p>⑧ 赤土等流出防止条例に係<br/>わる表示</p>   | <p>⑧ 工事現場の状況</p>  | <p>⑧ 工事現場の状況</p>  |
|    |    |    |
| <p>⑧ 昨年度の状況</p>   | <p>⑧ 昨年度の状況</p>   | <p>⑨ 山側から道路へ濁水の流<br/>出状況(濁り少)</p>   |
|   |   |   |
| <p>⑩ グリーンベルトによる赤土<br/>等の流出防止対策</p>  | <p>⑩ 昨年度の状況</p>   | <p>⑪ 沈砂池の状況<br/>(オーバーフロー有り・濁り少)</p>   |
|  |  |  |
| <p>⑪ 採水の状況<br/>(濁度20.1(度))</p>  | <p>⑫ 貯水池の状況<br/>(濁り有り)</p>  | <p>⑫ 貯水池の状況<br/>(オーバーフロー有り)</p>   |
|  |  |  |
| <p>⑫ 採水の状況<br/>(濁度19.6(度))</p>  | <p>⑬ 農地から道路へ赤土等の若干<br/>の流出痕状況(流出なし)</p>   | <p>⑬ 昨年度の状況</p>   |

53 池味地先 第1回調査(令和元年6月26日実施)

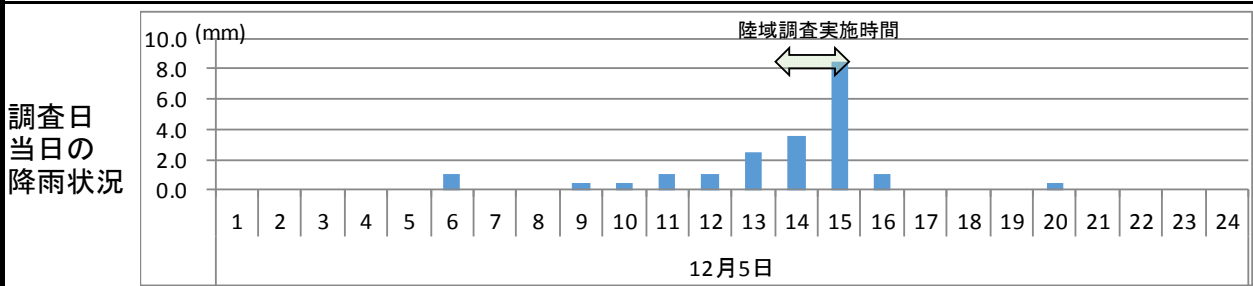
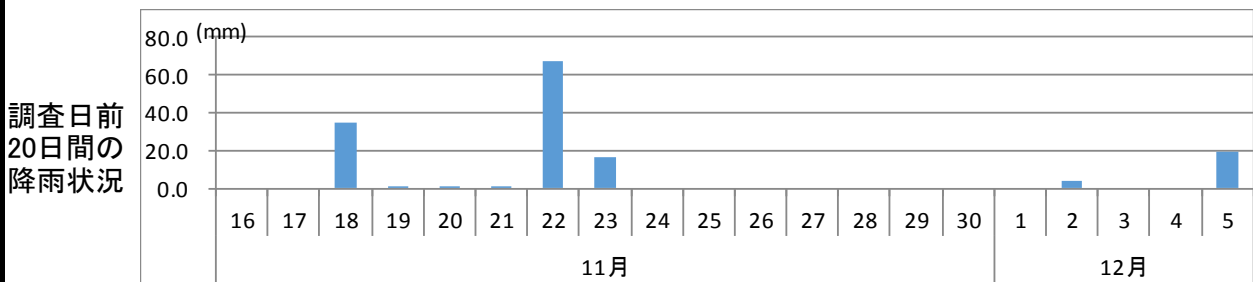
調査日には降雨量が 118 mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>⑭ サトウキビ畑の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑭ 昨年度の状況</p>   | <p>⑮ 農地の状況<br/>(流出なし)</p>   |
|  |  |  |
| <p>⑮ 昨年度の状況</p>   | <p>⑯ 工事現場の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑯ 昨年度の状況</p>   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |

53 池味地先

第2回調査(令和元年12月5日実施)

降雨状況 宮城島観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成31年4月7日であるため、本調査日令和元年12月5日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



|   |
|---|
| <b>53 池味地先 第2回調査(令和元年12月5日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨量が20mmであったため 降雨時 として調査実施</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域において、若干の濁りが確認され、濁度は0.9(度)であった。   |
| ② 流域内北側において、与那城町文化財指定「ヤンガー(建造物)」が確認された。ヤンガー内にある湧水に濁りは確認されなかった。                                      |
| ③ 流域内西側の水路において、若干の濁りが確認され、濁度は7.4(度)であった。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ④ 流域内北東側において、民間事業Aが行われていた。規模は11,708㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。現場には赤土等流出防止対策が特にみられなかったが、流出はないようであった。 |
| ⑤ 流域内東側において、新規造成地が確認された。規模は15×5m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。                                     |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑥ 流域内中央付近の農地において、グリーンベルトによる赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑦ 流域内南側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は3.0(度)であった。  |
| ⑧ 流域内西側において、貯水池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。   |
| <b>1回目確認地点との比較</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑨,⑩ 前回と比べ、サトウキビ畑から水路へ赤土等の流出は確認されなかった。   |
| ⑪,⑫ 前回と比べ、農地から道路や水路へ赤土等の流出は確認されなかった。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ④ 前回と比べ変化はなく、民間事業Aが継続していた。  |
| ⑬ 前回と比べ、山側から道路へ濁水の流出は確認されなかった。  |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑥ 前回と比べ変化はなく、グリーンベルトによる赤土等流出防止対策が確認された。   |

53 池味地先 第2回調査(令和元年12月5日実施)

調査日には降雨量が20mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り少)   | ① 河口域の状況<br>(濁り少)   | ① 採水の状況<br>(濁度0.9(度))   |
|    |    |    |
| ② 与那城町文化財指定 ヤン<br>ガー(建造物)の状況  | ③ 西側水路の状況<br>(濁り少)  | ③ 採水の状況<br>(濁度7.4(度))   |
| 個人情報に該当するため<br>非表示とした   |   |   |
| ④ 赤土等流出防止条例に係<br>わる表示   | ④ 工事現場の状況   | ④ 工事現場の状況   |
|  |  |  |
| ④ 前回の状況   | ④ 前回の状況   | ⑤ 新規造成地の状況  |
|  |  |  |
| ⑤ 新規造成地の状況  | ⑥ グリーンベルトによる赤土<br>等の流出防止対策  | ⑥ 前回の状況   |



53 池味地先 第2回調査(令和元年12月5日実施)

調査日には降雨量が20mmであったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑦ 沈砂池の状況<br>(オーバーフロー有り、濁りなし)  | ⑦ 採水の状況<br>(濁度3.0(度))   | ⑧ 貯水池の状況<br>(濁りなし)  |
|    |    |    |
| ⑧ 貯水池の状況<br>(オーバーフローなし)   | ⑨ サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)   | ⑨ 前回の状況   |
|   |   |   |
| ⑩ サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)   | ⑩ 前回の状況   | ⑪ 農地の状況<br>(流出なし)   |
|  |  |  |
| ⑪ 前回の状況   | ⑫ 農地の状況<br>(流出なし)   | ⑫ 前回の状況   |
|  |  |   |
| ⑬ 山側から道路への状況<br>(濁水流出しなし)   | ⑬ 前回の状況   |   |

## 66 大度海岸

### 流域内状況

本流域は、沖縄本島南部の糸満市大度海岸、米須海岸から北に伸びるように位置している。

海岸直上には、海岸線にほぼ平行に地下ダム堤体が伸び(①)、その上流側には地下の貯水区域がある。陸上部分にはサトウキビ畑やニンジン等の野菜栽培農地が広がる。流域北側には大規模な沈砂池が増築されており(②)、今後の赤土等の流出防止効果が期待される。

### 流域位置図



### 流域図



①米須地下ダム



②沈砂池の造成

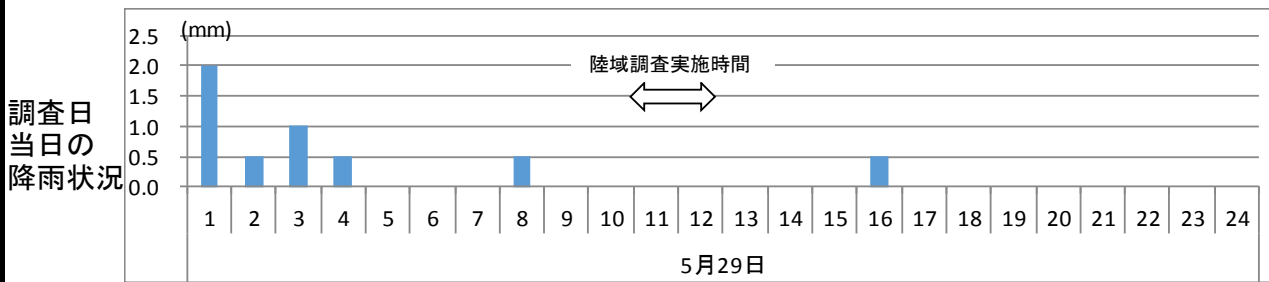
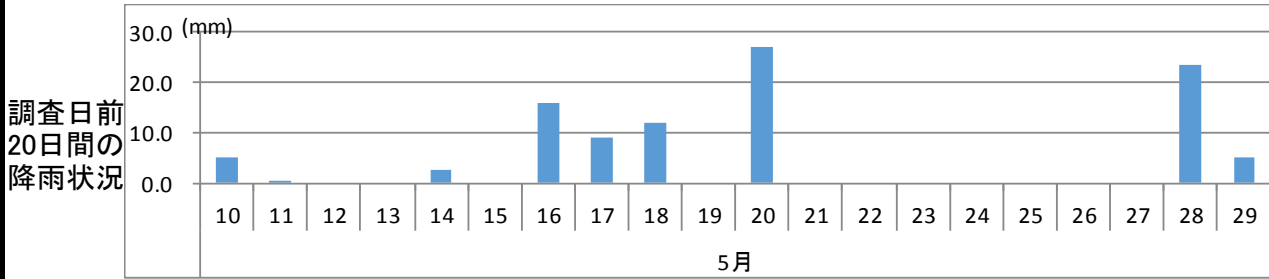
\* 衛星写真の撮影日は 令和元年11月2日 であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



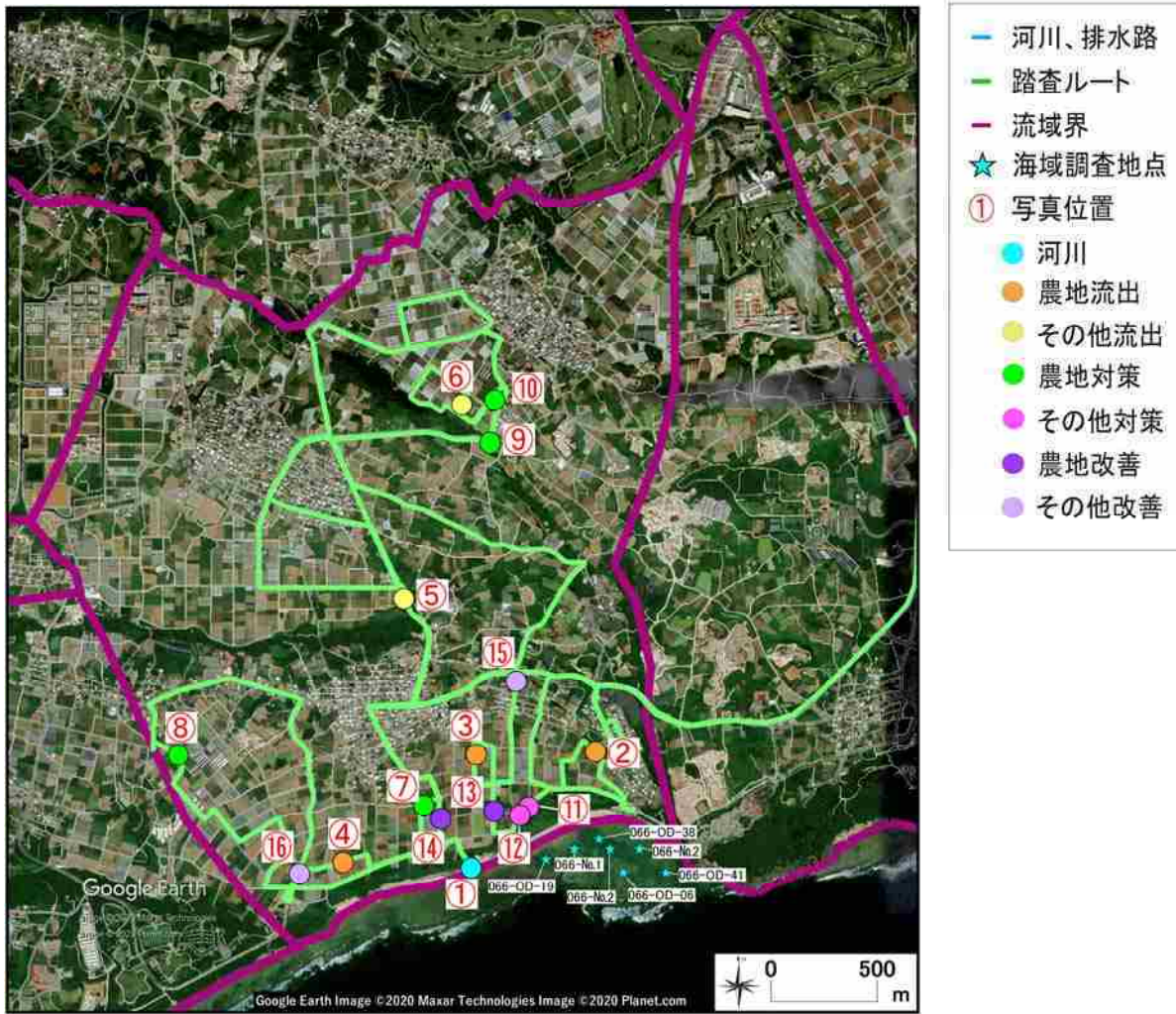
66 大度海岸

第1回調査(令和元年5月29日実施)

降雨状況 系数観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、令和元年11月2日であるため、本調査日令和元年5月29日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|  |
|--|
| <b>66 大度海岸 第1回調査(令和元年5月29日実施)</b>  |
| <b>調査日前日には降雨量が23.5mmであったため 降雨後 として調査実施</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)河口、河川</b>  |
| ① 河口域にある地下水の湧水箇所において、濁りは確認されなかった。  |
| <b>(2)農地</b>   |
| ② 流域内南東側において、農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕が確認された。  |
| ③ 流域内南側において、農地から側溝や道路へ若干の赤土等の流出痕が確認された。  |
| ④ 流域内南西側において、農地から側溝や道路へ若干の赤土等の流出痕が確認された。   |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑤ 流域内中央付近において、かんがい施設工事(完了後の可能性有)による造成地が確認された。規模は7,656㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。造成地内には表土保護が施された残土がみられた。                             |
| ⑥ 流域内北側において、「糸満市第4地区沈砂池工事(H30)」が行われていた。規模は20,610㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。  |
| <b>流出防止対策等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑦ 流域内南側において、ブロックなどの構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑧ 流域内西側の農地において、トタン板や木材による赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑨ 流域内東側の農地において、勾配の修正による赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑩ 流域内北側の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑪,⑫ 流域内南側において、浸透池が確認された。オーバーフローはなかった。  |
| <b>過年度確認地点との比較</b>   |
| <b>流出情報等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ③ 昨年度と比べ、農地からの赤土等の流出量は減少していた。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑤ 昨年度と比べ、ビニルシートが残っていたものの、赤土等流出防止条例に係わる表示は外されており、「真壁南地区畑地かんがい施設工事(H29繰)」の工事は完了したと予想される。草本により裸地も減少していることから、この地点から今後赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。 |
| ⑥ 昨年度と比べ、工事が進行しており、今後この大規模な沈砂池の赤土等の流出防止機能が期待される。   |
| <b>流出防止対策等</b>   |
| <b>(1)農地</b>   |
| ⑧ 昨年度と比べ変化はなく、トタン等による赤土等流出防止対策が施されていた。   |
| ⑨ 昨年度と比べ変化はなく、農地に勾配の修正による赤土等流出防止対策が施されていた。   |
| ⑩ 昨年度と比べ変化はなく、農地にグリーンベルトによる赤土等流出防止対策が施されていた。   |
| ⑬ 昨年度と比べ、ビニルハウスから赤土等の流出は確認されなかった。  |
| ⑭ 昨年度と比べ、流出痕がみられるものの、ごく少量であった。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>  |
| ⑮ 昨年度と比べ、幼稚園建設は完了しており、裸地も見られないことから、今後この地点から流出する可能性は低いと考えられる。   |
| ⑯ 昨年度と比べ、排水路管布設工事は完了しており、今後この地点から流出する可能性は低いと考えられる。   |



66 大度海岸 第1回調査(令和元年5月29日実施)

調査日前日には降雨量が23.5mmであったため 降雨後 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 地下水の湧水箇所の状況<br>(濁りなし)   | ② 農地から側溝や道路へ赤土等の流出痕状況   | ③ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況  |
|    |    |    |
| ③ 昨年度の状況  | ④ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況  | ④ 農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出痕状況  |
|   |   |   |
| ⑤ 工事現場の状況   | ⑤ 昨年度の状況  | ⑥ 赤土等流出防止条例に係わる表示   |
|  |  |  |
| ⑥ 工事現場の状況   | ⑥ 昨年度の状況  | ⑦ ブロック等による赤土等の流出防止対策  |
|  |  |  |
| ⑧ トタン板や木材による赤土等の流出防止対策  | ⑧ 昨年度の状況  | ⑨ 勾配の修正による赤土等の流出防止対策  |



66 大度海岸 第1回調査(令和元年5月29日実施)

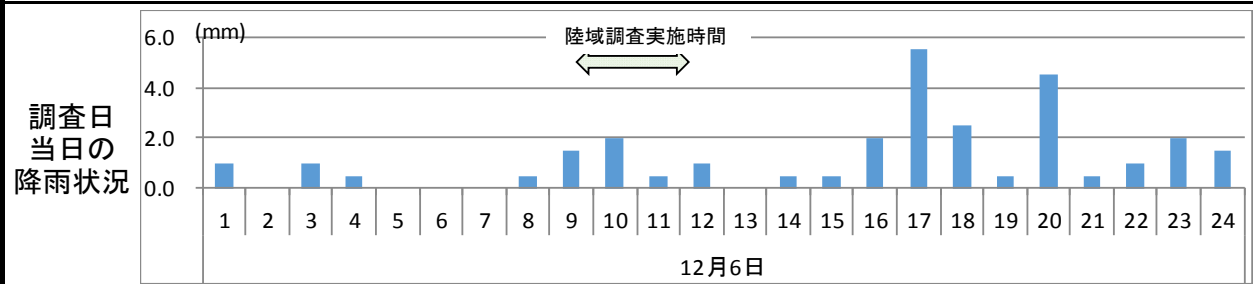
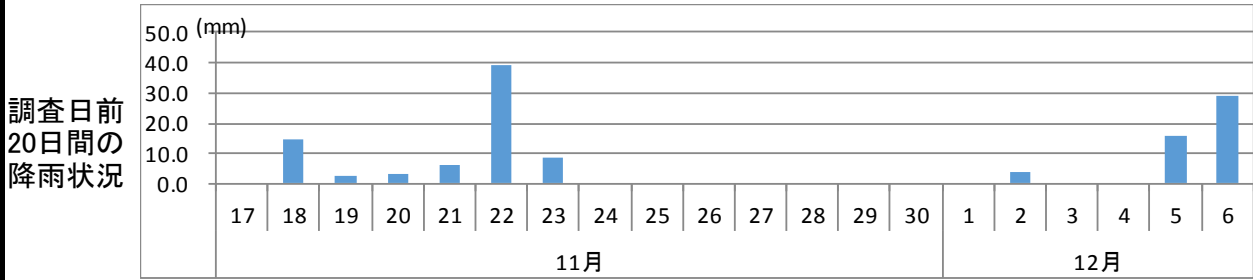
調査日前日には降雨量が23.5mmであったため 降雨後 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑨ 昨年度の状況  | ⑩ ベチバーによるグリーンベルトの状況   | ⑩ 昨年度の状況  |
|    |    |    |
| ⑪ 浸透池の状況<br>(オーバーフローなし)   | ⑫ 浸透池の状況<br>(オーバーフローなし)   | ⑫ 浸透池横の水路の状況<br>(濁りなし)  |
|   |   |   |
| ⑬ 農地の状況<br>(流出なし)   | ⑬ 昨年度の状況  | ⑭ ビニルハウスの状況<br>(流出なし)   |
|  |  |  |
| ⑭ 昨年度の状況  | ⑮ 幼稚園建設工事完了の状況<br>(流出なし)  | ⑮ 昨年度の状況  |
|  |  |  |
| ⑯ 排水管布設工事完了の状況<br>(流出なし)  | ⑯ 排水管布設工事完了の状況<br>(流出なし)  | ⑯ 昨年度の状況  |

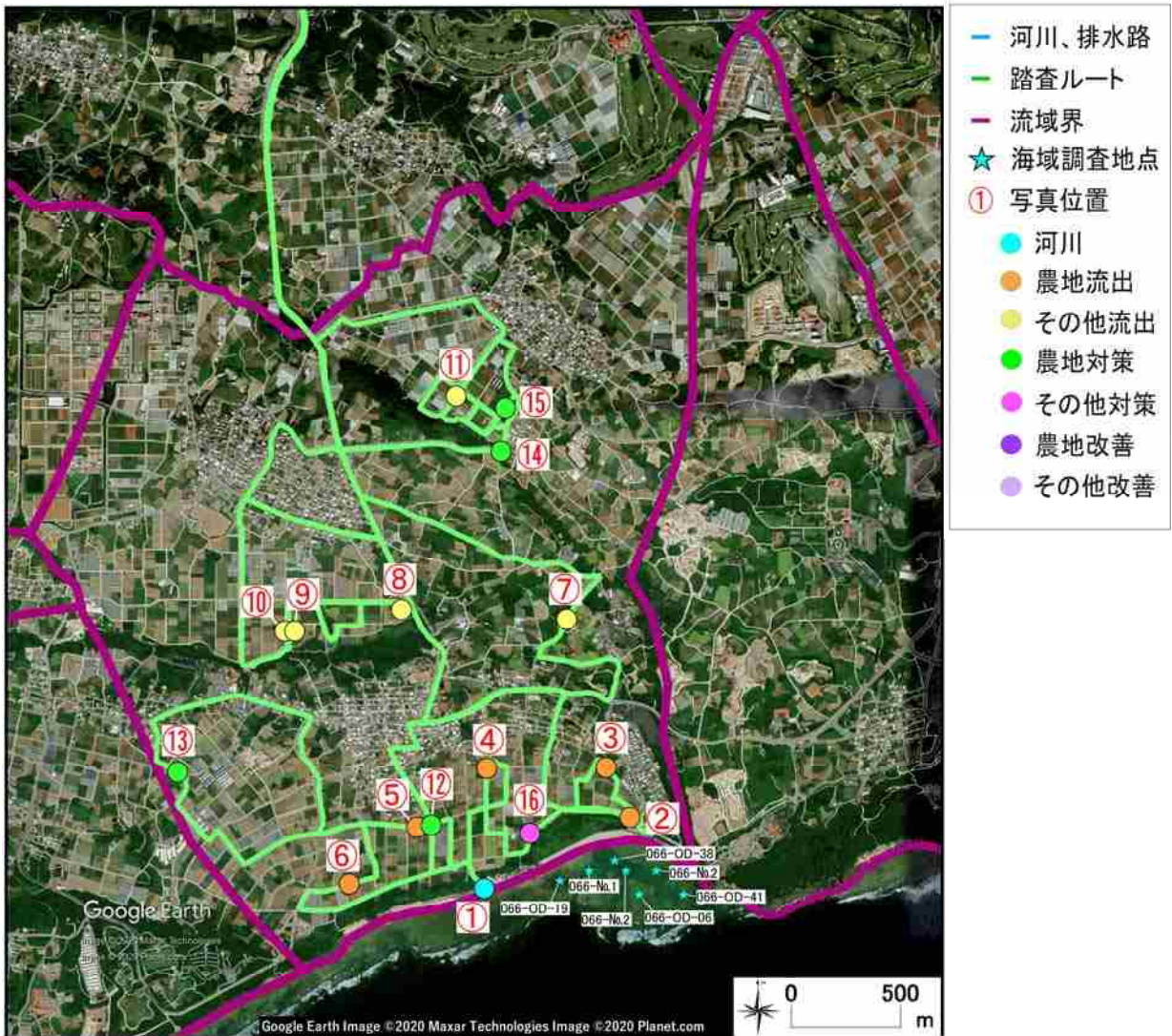
66 大度海岸

第2回調査(令和元年12月6日実施)

降雨状況 系数観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、令和元年11月2日であるため、本調査日令和元年12月6日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



|   |
|---|
| <b>66 大度海岸 第2回調査(令和元年12月6日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨量が 29 mm であったため 降雨時 として調査実施</b>   |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域にある地下水の湧水箇所において、濁りは確認されず、濁度は0.6(度)であった。  |
| <b>(2)農地</b>  |
| ② 流域内南東側において、農地から側溝へ赤土等の若干の流出が確認された。  |
| ③ 流域内南東側において、農地から側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。側溝内には赤土等の堆積が確認された。                                      |
| ④ 流域内南側において、農地から側溝や道路へ若干の赤土等の流出が確認された。  |
| ⑤ 流域内南側において、農地から側溝や道路へ若干の赤土等の流出が確認された。側溝内には、赤土等の堆積が確認された。                                   |
| ⑥ 流域内南西側において、農地から側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。側溝内には周辺農地から流出したと思われる土砂が堆積していた。                          |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑦ 流域内東側において、新規造成地が確認された。規模は100×60m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。                           |
| ⑧ 流域内中央付近において、「真壁南地区洪水調整池工事(R1)」が確認された。規模は52,912㎡であり、赤土等流出等防止条例に係わる表示が確認された。                |
| ⑨ 流域内西側において「真壁南地区洪水調整池工事(R1)」の残土置き場が確認された。規模は30×30m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。             |
| ⑩ 流域内西側において「真壁南地区畑地かんがい施設工事(H29繰)」の残土置き場が確認された。規模は20×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示が確認された。        |
| ⑪ 流域内北側において、「糸満市第4地区沈砂池工事(H30)」が行われていた。規模は20,610㎡であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。              |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑫ 流域内南側において、ブロックなどの構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑬ 流域内西側の農地において、トタン板や木材による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑭ 流域内東側の農地において、勾配の修正による赤土等の流出防止対策が確認された。  |
| ⑮ 流域内北側の農地において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑯ 流域内南側において、浸透池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。   |
| <b>第1回確認地点との比較</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ③ 前回と比べ、農地は裸地になっており、側溝には赤土等の流出及び堆積が確認された。   |
| ④ 前回と比べ変化はなく、農地から道路へ赤土等の流出が確認された。   |
| ⑥ 前回と比べ変化はなく、農地から道路や側溝へ赤土等の流出が確認された。  |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑧ 前回と比べ、新たに洪水調整池として工事が行われていた。   |
| ⑪ 前回と比べ、工事が進行しており、いくつかの沈砂池は完成しているようであったが、一部は未だ工事が行われている箇所もあった。今後この大規模な沈砂池の赤土等の流出防止機能が期待される。 |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑫ 前回と比べ変化はなく、ブロックによる赤土等の流出防止対策が施されていた。  |
| ⑬ 前回と比べ変化はなく、トタン等による赤土等の流出防止対策が施されていた。  |
| ⑭ 前回と比べ変化はなく、農地に勾配の修正による赤土等の流出防止対策が施されていた。  |
| ⑮ 前回と比べ変化はなく、農地にグリーンベルトによる赤土等の流出防止対策が施されていた。  |




66 大度海岸 第2回調査(令和元年12月6日実施)

調査日には降雨量が 29 mm であったため 降雨時 として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 地下水の湧水箇所の状況<br>(濁りなし)   | ① 採水の状況<br>(濁度0.6(度))   | ② 農地から側溝へ赤土等の<br>流出状況   |
|    |    |    |
| ③ 農地から水路や道路へ赤<br>土等の流出状況  | ③ 前回の状況   | ④ 農地から側溝や道路へ赤<br>土等の若干の流出状況   |
|   |   |   |
| ④ 前回の状況   | ⑤ 農地から側溝へ赤土等の<br>流出状況   | ⑤ 側溝内の赤土等の堆積状<br>況  |
|  |  |  |
| ⑥ 農地から側溝や道路へ赤<br>土等の流出状況  | ⑥ 農地から側溝や道路へ赤<br>土等の流出状況  | ⑥ 側溝内の赤土等の堆積状<br>況  |
|  |  |  |
| ⑥ 前回の状況   | ⑥ 前回の状況   | ⑦ 新規造成地の状況  |

66 大度海岸 第2回調査(令和元年12月6日実施)

調査日には降雨量が 29 mm であったため 降雨時 として調査実施

|   |  |   |
|---|--|---|
|    |  <p>沖縄県赤土等流出防止条例に係る表示<br/>         工事名 高層地区洪水調整池工事(第1)<br/>         通知書番号 南保第 4-31180 号<br/>         通知年月日 令和元年10月28日<br/>         工事面積 52,912 m<sup>2</sup><br/>         工事期間 令和元年 9月10日～令和 2年 2月 6日<br/>         管理業者 株式会社 永達建設 上江洲 浩<br/>         特定危険区域管理 役場内処理</p> |    |
| ⑦ 新規造成地の状況  | ⑧ 赤土等流出防止条例に係る表示   | ⑧ 工事現場の状況   |
|    |  <p>沖縄県赤土等流出防止条例に係る表示<br/>         工事名 高層地区洪水調整池工事(第1)<br/>         通知書番号 南保第 4-31180 号<br/>         通知年月日 令和元年10月28日<br/>         管理業者 株式会社 永達建設 上江洲 浩</p>   |    |
| ⑧ 前回の状況   | ⑨ 赤土等流出防止条例に係る表示   | ⑨ 工事現場の状況   |
|   |    |   |
| ⑩ 赤土等流出防止条例に係る表示  | ⑩ 工事現場の状況  | ⑪ 工事現場の状況   |
|  |   |  |
| ⑪ 工事現場の状況   | ⑪ 前回の状況  | ⑫ ブロック等による赤土等の流出防止対策  |
|  |   |  |
| ⑫ 前回の状況   | ⑬ トタン板や木材による赤土等の流出防止対策   | ⑬ 前回の状況   |



66 大度海岸 第2回調査(令和元年12月6日実施)

調査日には降雨量が 29 mm であったため 降雨時 として調査実施

|  |   |  |
|--|---|--|
|   |  |  |
| ⑭ 勾配の修正による赤土等の流出防止対策   | ⑭ 前回の状況   | ⑮ ベチバーによるグリーンベルトの状況  |
|   |  |  |
| ⑮ 前回の状況  | ⑯ 浸透池の状況<br>(オーバーフローなし)   | ⑯ 浸透池の状況<br>(オーバーフローなし)  |
|  |   |  |
| ⑯ 浸透池の状況<br>(オーバーフローなし)  |   |  |
|  |   |  |
|  |   |  |
|  |   |  |



## 71 真謝川河口

### 流域内状況

本流域は、真謝川を主とする流域であり、久米島の東側に位置する。中流域には、「県営水質保全対策事業(耕土流出防止型)」(①)が行われている農地がある。この農地では、サトウキビが主として栽培されており、また一部には沈砂池が設置されている。

### 流域位置図



### 流域図



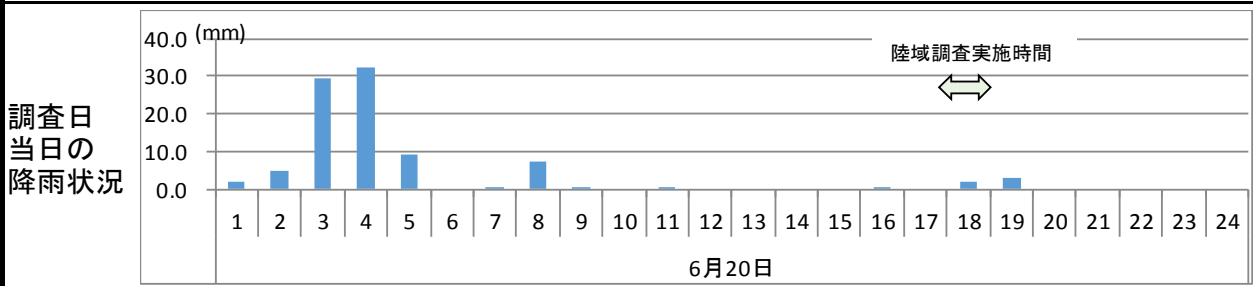
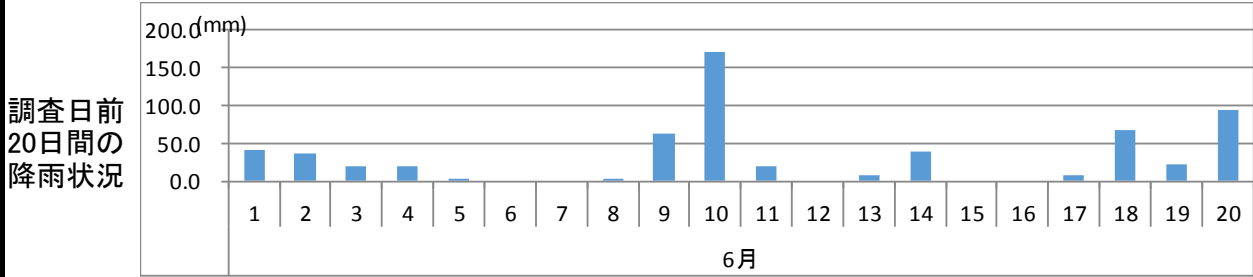
① 県営水質保全対策事業

\* 衛星写真の撮影日は平成30年10月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

71 真謝川河口

第1回調査(令和元年6月20日実施)

降雨状況 久米島観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成30年10月8日であるため、本調査日令和元年6月20日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|   |
|---|
| <b>71 真謝川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)</b>  |
| <b>調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は3.1(度)であった。  |
| ② 河口域付近の水路において、濁りが確認され、濁度は35.3(度)であった。  |
| ③ 南側支川中流域の北側水路との合流地点において、濁りが確認され、濁度は20.1(度)であった。  |
| ④ 南側支川上流域において、濁りが確認され、濁度は15.0(度)であった。   |
| <b>(2)農地</b>  |
| ⑤ 流域内東側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の若干の流出が確認された。  |
| ⑥ 流域内北側において、サウキビ畑から道路や水路へ赤土等の若干の流出が確認された。   |
| ⑦ 流域内中央付近において、農地から側溝や道路へ赤土等の若干の流出が確認された。  |
| ⑧ 流域内中央付近において、サウキビ畑から水路へ濁水が流出しており、濁度は28.6(度)であった。   |
| ⑨ 流域内中央付近において、サウキビ畑から水路へ濁水が流出しており、濁度は180.0(度)であった。なお、水路側面には切れ込みがあり、濁水流出が起こりやすい構造になっていた。(以前からヒアリングにより指摘のあった箇所) |
| ⑩ 流域内中央付近において、サウキビ畑から水路へ濁水が流出しており、濁度は969.0(度)であった。  |
| ⑪ 流域内南西側において、側溝が決壊し、サウキビ畑から濁水が流出しており、濁度は229.0(度)であった。   |
| ⑫ 流域内西側において、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出が確認された。   |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑬ 流域内東側において、造成地が確認された。残土が残る状態であるものの、特に赤土等の流出は確認されなかった。  |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑭ 流域内中央付近のサウキビ畑において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑮ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローの状況は不明であったが、沈砂池にほとんど濁りがないことから、オーバーフローをしても濁水の流出はないと考えられる。                         |
| <b>過年度確認地点との比較</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑤,⑥,⑦,⑫ 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑等の農地から赤土等の流出が確認された。  |
| ⑯ 昨年度と比べ、道路上に砂利の堆積はあったものの、周辺農地から赤土等の流出は確認されなかったため、今後この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。                               |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑬ 昨年度と比べ、工事は完了していた。裸地が残る状態であるものの外周を草本が覆ってきているため、この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。                                   |
| ⑰ 昨年度と比べ、工事は完了しており、今後この地点から赤土等が流出する可能性は低いと考えられる。  |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑭ 昨年度と比べ変化はなく、サウキビ畑に構造物による赤土等の流出防止対策が施されていた。  |



71 真謝川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 採水の状況<br>(濁度3.1(度))   | ② 河口域の水路の状況<br>(濁り有り)   |
|    |    |    |
| ② 採水の状況<br>(濁度35.3(度))  | ③ 南側支川中流域の状況<br>(濁り有り)  | ③ 採水の状況<br>(濁度20.1(度))  |
|   |   |   |
| ④ 南側支川上流域の状況<br>(濁りなし)  | ④ 採水の状況<br>(濁度15.0(度))  | ⑤ サトウキビ畑から道路や側溝へ赤土等の若干の流出状況   |
|  |  |  |
| ⑤ 昨年度の状況  | ⑥ サトウキビ畑から道路や水路へ赤土等の若干の流出状況   | ⑥ 昨年度の状況  |
|  |  |  |
| ⑦ 農地から赤土等の若干の流出状況   | ⑦ 昨年度の状況  | ⑧ サトウキビ畑から水路へ濁水の流出状況  |

71 真謝川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑧ 採水の状況<br>(濁度28.6(度))  | ⑨ サトウキビ畑から水路へ濁水の流出状況  | ⑨ 採水の状況<br>(濁度180.0(度))   |
|    |    |    |
| ⑩ サトウキビ畑から水路へ濁水の流出状況  | ⑩ 採水の状況<br>(濁度969.0(度))   | ⑪ サトウキビ畑から側溝へ濁水の流出状況  |
|   |   |   |
| ⑪ 採水の状況<br>(濁度229.0(度))   | ⑫ 農地から道路へ赤土等の流出痕状況  | ⑫ 昨年度の状況  |
|  |  |  |
| ⑬ 造成工事の状況   | ⑬ 昨年度の状況  | ⑭ 構造物による赤土等の流出防止対策  |
|  |  |  |
| ⑭ 昨年度の状況  | ⑮ 沈砂池の状況<br>(オーバーフロー不明・濁りなし)  | ⑯ サトウキビ畑の状況(砂利が堆積するものの、農地からの流出なし)   |

71 真謝川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

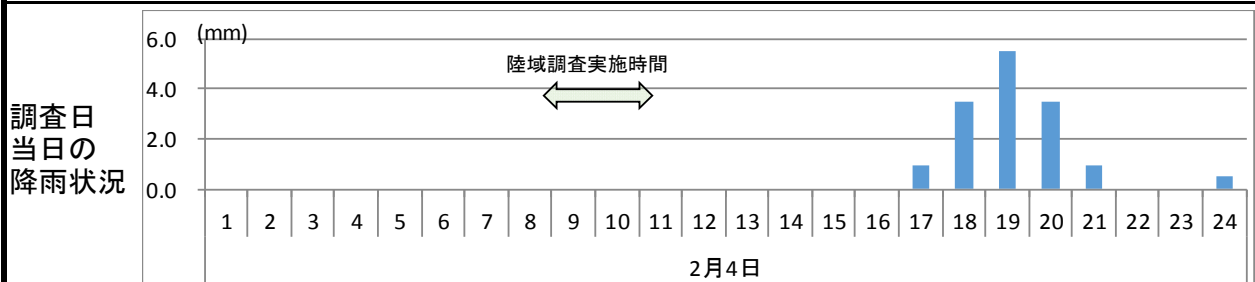
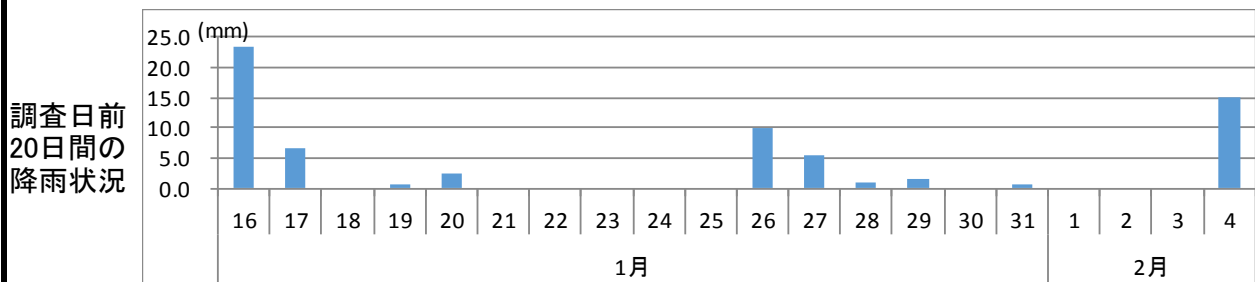
|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>⑩ 昨年度の状況</p>   | <p>⑪ 農道整備工事の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑪ 農道整備工事の状況<br/>(流出なし)</p>   |
|  |  |   |
| <p>⑪ 昨年度の状況</p>   | <p>⑪ 昨年度の状況</p>   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |



71 真謝川河口

第2回調査(令和2年2月4日実施)

降雨状況 久米島観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成30年10月8日であるため、本調査日令和2年2月4日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

|   |
|---|
| <b>71 真謝川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)</b>   |
| <b>調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施</b>   |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)河口、河川</b>   |
| ① 河口域において、濁りは確認されなかった。  |
| ② 河口域付近の水路において、濁りは確認されなかった。   |
| ③ 南側支川中流域の北側水路との合流地点において、濁りは確認されなかった。   |
| ④ 南側支川上流域において、濁りは確認されなかった。  |
| <b>(2)農地</b>  |
| ⑤ 流域内中央付近において、サウキビ畑から水路へ赤土等の若干の流出痕が確認された。   |
| ⑥ 流域内南西側において、赤土等の流出可能性の高いサウキビ畑が確認された。   |
| ⑦ 流域内南西側において、側溝が決壊し、赤土等の流出可能性の高いサウキビ畑が確認された。  |
| <b>(3)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑧ 流域内東側において、工事名等不明の残土置き場が確認された。規模は50×20m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。また、道路には若干の赤土等の流出痕が確認された。 |
| ⑨ 流域内中央付近において、「農道真謝45号線整備工事」による農地周辺への構造物の新規設置が確認された。  |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑩ 流域内中央付近のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑪ 流域内中央付近のサウキビ畑において、構造物による赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| ⑫ 流域内中央付近のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。しかし、水路内には赤土等の流出痕が確認された。                            |
| ⑬ 流域内西側のサウキビ畑において、マルチングによる赤土等の流出防止対策が確認された。   |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ⑭ 流域内西側において、沈砂池が確認された。滞水は確認されなかった。  |
| <b>第1回確認地点との比較</b>  |
| <b>流出情報等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ⑮ 前回と比べ、サウキビ畑から濁水の流出は無かったものの、側溝には赤土等の流出痕が強く残っていた。   |
| ⑯ 前回と比べ、サウキビ畑から濁水の流出は無かったが、裸地が目立ち、側溝内にも土砂が堆積しているため、降雨時には赤土等が流出していると考えられる。                       |
| ⑰ 前回と比べ、サウキビ畑からの濁水の流出は無かったが、前回同様側溝が決壊しているため、降雨時には赤土等が流出していると考えられる。                              |
| ⑱ 前回と比べ、サウキビ畑から道路へ赤土等の流出は確認されなかった。  |
| ⑲ 前回と比べ、若干の流出痕は残るものの、道路側に雑草を残したり、段差をつける等対策を行っているため、今後この地点から流出する可能性は低いと考えられる。                    |
| ⑳ 前回と比べ、雑草地になっており、若干の流出痕は残るものの、農地としての利用ではなくなったため、今後この地点から流出する可能性は低いと考えられる。                      |
| <b>(2)その他(造成地や工事など)</b>   |
| ㉑ 前回と比べ、造成工事は終了しているようであり、残土は残るものの、周辺には雑草が覆っているため、今後流出する可能性は低いと考えられる。                            |
| <b>流出防止対策等</b>  |
| <b>(1)農地</b>  |
| ㉒ 前回と比べ変化はなく、サウキビ畑に構造物による赤土等の流出防止対策が施されていた。   |
| ㉓ 前回と比べ、濁水が流出していた農地にはマルチングが施されていた。ただし、水路側面には切れ込みがあり、濁水発生時には水路への流出が促されることが懸念される。                 |
| ㉔ 前回と比べ、農地にはマルチングが施されていた。   |

71 真謝川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)

調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁りなし)  | ② 河口域の水路の状況<br>(濁りなし)   | ③ 南側支川中流域の状況<br>(濁りなし)  |
|    |    |    |
| ④ 南側支川上流域の状況<br>(濁りなし)  | ⑤ サトウキビ畑から水路へ赤土等の若干の流出痕状況   | ⑤ 前回の状況   |
|   |   |   |
| ⑥ 赤土等の流出可能性の高いサトウキビ畑の状況   | ⑥ 赤土等の流出可能性の高いサトウキビ畑の状況   | ⑥ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑦ 赤土等の流出可能性の高いサトウキビ畑の状況   | ⑦ 前回の状況   | ⑧ 残土置き場の状況  |
|  |  |  |
| ⑨ 農道整備工事の状況   | ⑩ マルチングによる赤土等の流出防止対策  | ⑪ 構造物による赤土等の流出防止対策  |



71 真謝川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)

調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑪ 前回の状況   | ⑫ マルチングによる赤土等の流出防止対策  | ⑫ 側溝内の状況  |
|    |    |    |
| ⑫ 前回の状況   | ⑬ マルチングによる赤土等の流出防止対策  | ⑬ 前回の状況   |
|   |   |   |
| ⑭ 沈砂池の状況<br>(滞水なし)  | ⑮ サトウキビ畑の状況<br>(流出なし)   | ⑮ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑯ 農地の状況<br>(流出なし)   | ⑯ 前回の状況   | ⑰ 雑草地の状況<br>(流出なし)  |
|  |  |  |
| ⑰ 前回の状況   | ⑱ 終了した造成工事現場の状況(流出なし)   | ⑱ 前回の状況   |

### 73 儀間川河口

#### 流域内状況

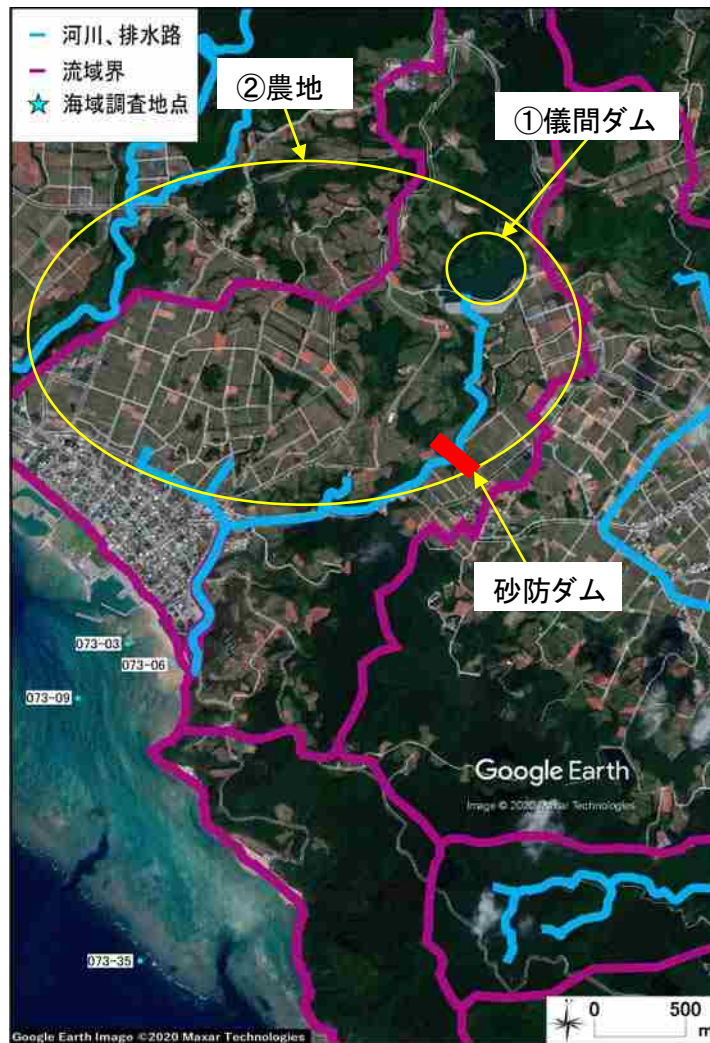
本流域は、儀間川を主とする流域であり、久米島の南西側に位置する。  
河川上流には、儀間ダムがあり(①)、中流域には堰が存在する(ヒアリング等の  
情報収集により)。

流域内には、海域側には住宅地が立地しており、その内陸側にはサトウキビを  
主とする農地が広がっている(②)。

#### 流域位置図



#### 流域図



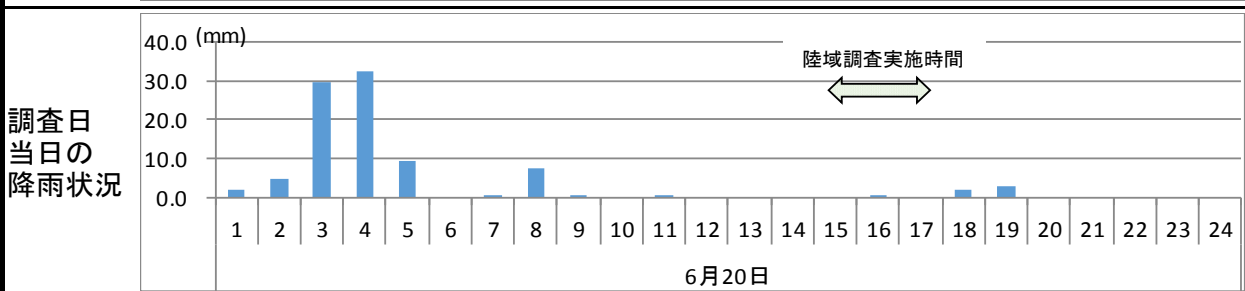
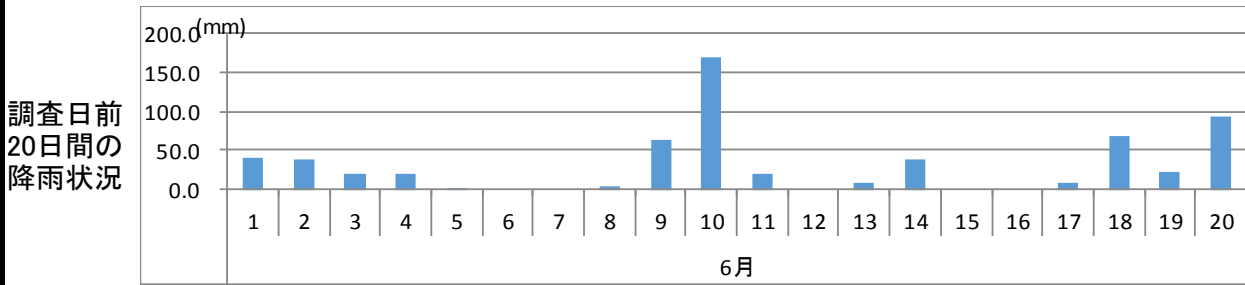
\* 衛星写真の撮影日は平成30年10月8日であり、調査時の状況、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



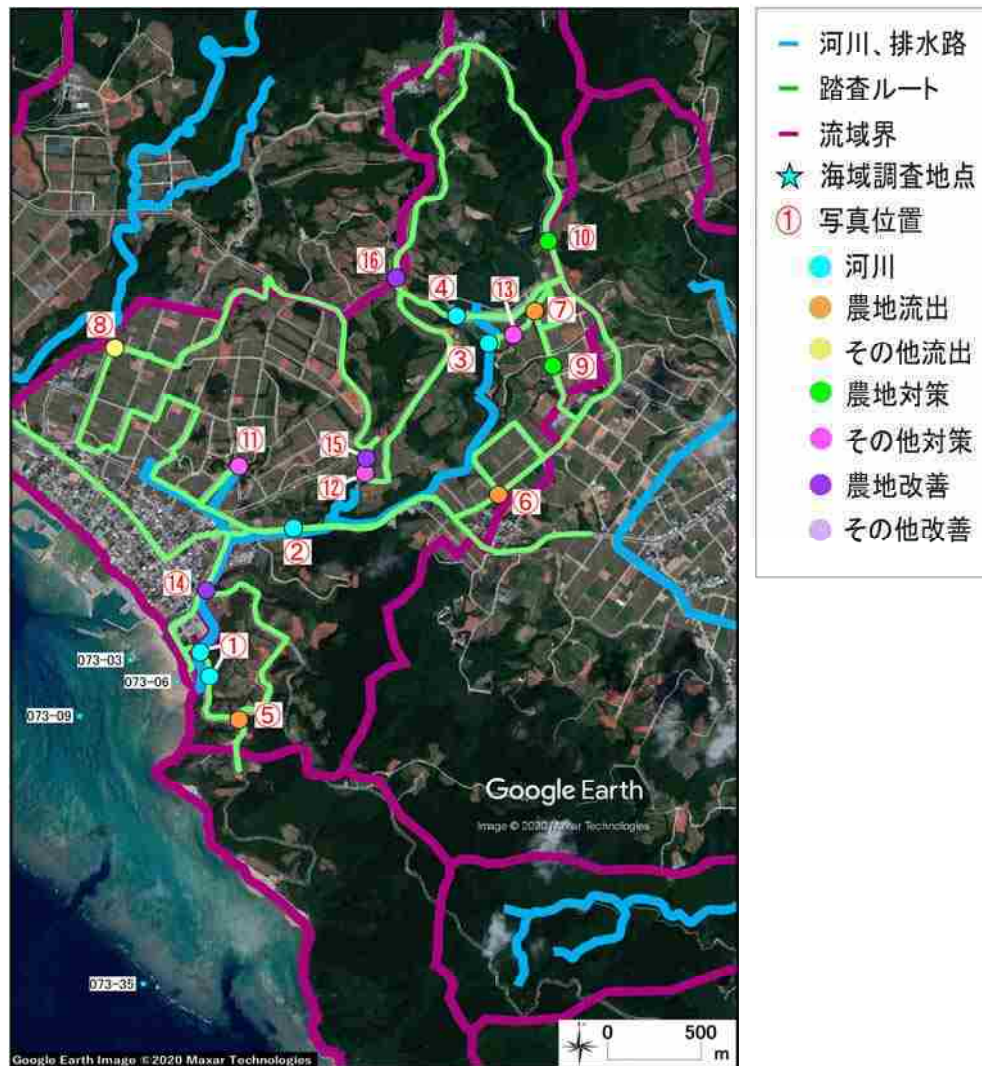
73 儀間川河口

第1回調査(令和元年6月20日実施)

降雨状況 久米島観測所



調査図



\* 航空写真の撮影日は、平成30年10月8日であるため、本調査日令和元年6月20日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。



73 儀間川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

流出情報等

(1)河口、河川

- ① 河口域において、濁りが確認され、濁度は8.7(度)であった。調査の結果、河口域の濁りは特定の流出源があるわけではなく、周辺の農地等から全体的に流出していると考えられる。
- ② 東側支川下流域において、濁りが確認され、濁度は4.5(度)であった。
- ③ 東側支川上流域の儀間ダム直下にある河川との合流地点において、ほとんど濁りは確認されず、濁度は1.1(度)であった。
- ④ 東側支川上流域の儀間ダムにおいて、調査時に放水しており、若干の濁りが確認された。

(2)農地

- ⑤ 流域内南側において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出が確認された。
- ⑥ 流域内東側において、サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の流出が確認され、濁度は4.8(度)であった。
- ⑦ 流域内北側において、サトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出が確認された。

(3)その他(造成地や工事など)

- ⑧ 流域内西側において、「嘉手苅地区営農雑用水施設設置工事」が行われていた。規模は15×5m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。裸地が目立つものの、赤土等の流出は確認されなかった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 流域内東側のサトウキビ畑において、グリーンベルトと土のうによる赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑩ 流域内北側のサトウキビ畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。

(2)その他(造成地や工事など)

- ⑪ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は4.9(度)であった。
- ⑫ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は21.0(度)であった。
- ⑬ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしており、濁度は2.7(度)であった。

過年度確認地点との比較

流出情報等

(1)農地

- ⑤ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑から道路へ赤土等が流出していた。
- ⑦ 昨年度と比べ、サトウキビ畑から側溝へ赤土等が流出していた。
- ⑭,⑮,⑯ 昨年度と比べ、サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の流出は確認されなかった。

流出防止対策等

(1)農地

- ⑨ 昨年度と比べ、サトウキビ畑にグリーンベルトと土のうによる赤土等流出防止対策が施されていたが、グリーンベルトはベチバーから他種(種名不明)に変わっていた。
- ⑩ 昨年度と比べ変化はなく、サトウキビ畑にベチバーによるグリーンベルトが施されていた。

73 儀間川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 河口域の状況<br>(濁り有り)  | ① 採水の状況<br>(濁度8.7(度))   |
|    |    |    |
| ② 東側支川下流域の状況<br>(濁り有り)  | ② 採水の状況<br>(濁度4.5(度))   | ③ ダム直下の河川との合流<br>地点の状況(濁り少)   |
|   |   |   |
| ③ 採水の状況<br>(濁度1.1(度))   | ④ 儀間ダムの状況<br>(放水有り、濁り少)   | ⑤ サトウキビ畑から道路へ赤<br>土等の流出状況   |
|  |  |  |
| ⑤ 昨年度の状況  | ⑥ サトウキビ畑から側溝や道<br>路へ赤土等の流出状況  | ⑥ 採水の状況<br>(濁度4.8(度))   |
|  |  |  |
| ⑦ サトウキビ畑から側溝や道<br>路へ赤土等の流出状況  | ⑦ 昨年度の状況  | ⑧ 管水路工事現場の状況  |

73 儀間川河口 第1回調査(令和元年6月20日実施)

調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑧ 管水路工事現場の状況  | ⑨ グリーンベルトと土のうによる赤土等の流出防止対策  | ⑨ 昨年度の状況  |
|    |    |    |
| ⑩ ベチバーによるグリーンベルトの状況   | ⑩ 昨年度の状況  | ⑪ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り少)   |
|   |   |   |
| ⑪ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り少)   | ⑪ 採水の状況(濁度4.9(度))   | ⑫ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り有り)  |
|  |  |  |
| ⑫ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り有り)  | ⑫ 採水の状況(濁度21.0(度))  | ⑬ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り有り)  |
|  |  |  |
| ⑬ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁り有り)  | ⑬ 採水の状況(濁度2.7(度))   | ⑭ サトウキビ畑の状況(流出なし)   |



第1回調査(令和元年6月20日実施)

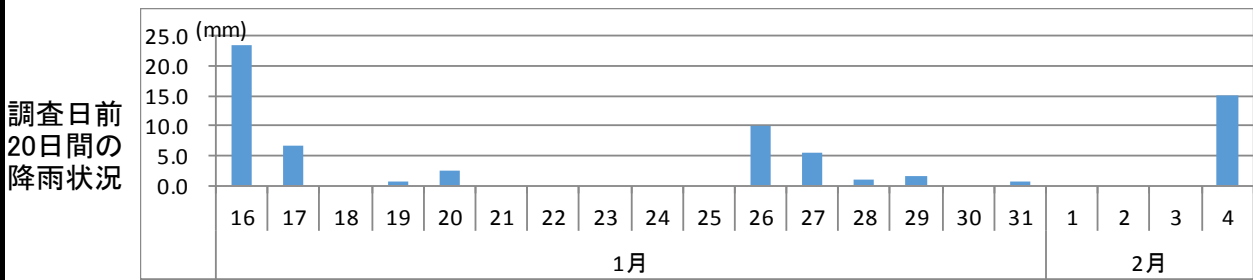
調査日は、調査前までに93mmの降雨があったため、降雨後として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|  |  |  |
| <p>⑭ 昨年度の状況</p>   | <p>⑮ サトウキビ畑の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑮ 昨年度の状況</p>   |
|  |  |   |
| <p>⑯ サトウキビ畑の状況<br/>(流出なし)</p>   | <p>⑯ 昨年度の状況</p>   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |

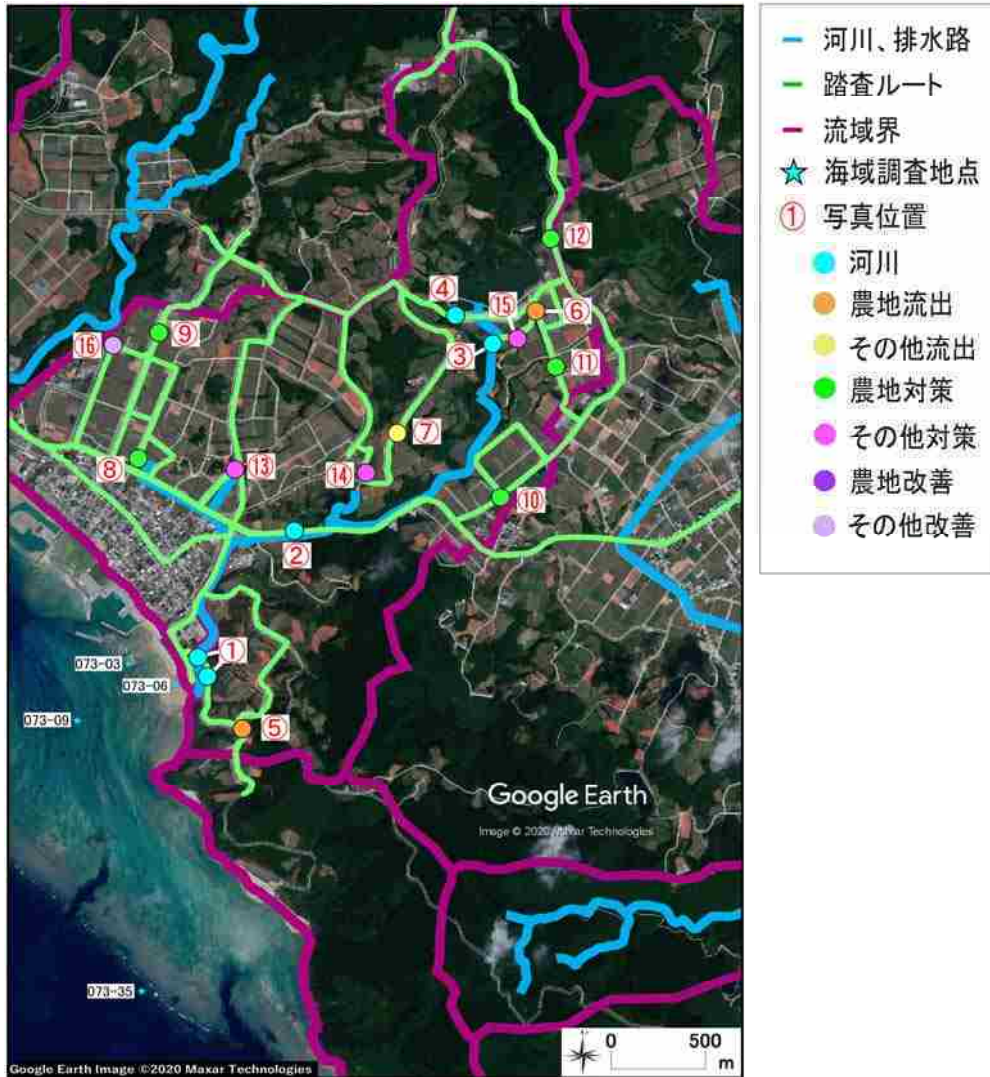
73 儀間川河口

第2回調査(令和2年2月4日実施)

降雨状況 久米島観測所



調査図



\* 衛星写真の撮影日は、平成30年10月8日であるため、本調査日令和2年2月4日とは異なり、特に裸地や造成地の様子を反映していない可能性がある。

**73 儀間川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)**

調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施

**流出情報等**

**(1)河口、河川**

- ① 河口域において、濁りは確認されなかった。
- ② 東側支川下流域において濁りは確認されなかった。
- ③ 東側支川上流域の儀間ダム直下にある河川との合流地点において、濁りは確認されなかった。
- ④ 東側支川上流域の儀間ダムにおいて、放水は確認されなかった。

**(2)農地**

- ⑤ 流域内南側において、サトウキビ畑から道路へ赤土等の流出痕が確認された。
- ⑥ 流域内北側において、サトウキビ畑から側溝へ赤土等の流出痕が確認された。

**(3)その他(造成地や工事など)**

- ⑦ 流域内中央付近において、新規造成地が確認された。規模は30×10m程度であり、赤土等流出防止条例に係わる表示は確認されなかった。道路や側溝には赤土等の流出痕が確認された。

**流出防止対策等**

**(1)農地**

- ⑧ 流域内西側のサトウキビ畑において、マルチングによる赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑨ 流域内西側のサトウキビ畑において、「久米島赤土流出防止対策協議会」により設置された足場板による赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑩ 流域内東側のサトウキビ畑において、「久米島赤土流出防止対策協議会」により設置された足場板による赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑪ 流域内東側のサトウキビ畑において、土のうによる赤土等流出防止対策が確認された。
- ⑫ 流域内北側のサトウキビ畑において、ベチバーによるグリーンベルトが確認された。

**(2)その他(造成地や工事など)**

- ⑬ 流域内西側において、沈砂池が確認された。オーバーフローしていたが、濁りは確認されなかった。
- ⑭ 流域内中央付近において、沈砂池が確認された。オーバーフローしていたが、濁りは確認されなかった。
- ⑮ 流域内北側において、沈砂池が確認された。オーバーフローは確認されなかった。

**第1回確認地点との比較**

**流出情報等**

**(1)農地**

- ⑤,⑥ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑から側溝や道路へ赤土等の流出が確認された。
- ⑩ 前回と比べ、「久米島赤土流出防止対策協議会」によって、足場板による赤土等流出防止対策が施されたことによって、側溝や道路へ赤土等の流出は無くなっていた。

**(2)その他(造成地や工事など)**

- ⑯ 前回と比べ、「嘉手苺地区営農雑用水施設設置工事」は完了しており、今後この地点から赤土等の流出は無いと考えられる。

**流出防止対策等**

**(1)農地**

- ⑪ 前回と比べ、サトウキビ畑のグリーンベルトはほとんどなくなっていた。
- ⑫ 前回と比べ変化はなく、サトウキビ畑にベチバーによるグリーンベルトが施されていた。



73 儀間川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)

調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ① 河口域の状況<br>(濁りなし)  | ① 河口域の状況<br>(濁りなし)  | ② 東側支川下流域の状況<br>(濁りなし)  |
|    |    |    |
| ③ ダム直下の河川との合流<br>地点の状況(濁りなし)  | ④ 儀間ダムの状況<br>(放水なし)   | ⑤ サトウキビ畑から道路へ赤<br>土等の流出痕状況  |
|   |   |   |
| ⑤ 前回の状況   | ⑥ サトウキビ畑から側溝や道<br>路へ赤土等の流出痕状況   | ⑥ 前回の状況   |
|  |  |  |
| ⑦ 新規造成地の状況<br>(赤土等の流出痕あり)   | ⑦ 新規造成地の状況<br>(赤土等の流出痕あり)   | ⑧ マルチングによる赤土等の<br>流出防止対策  |
|  |  |  |
| ⑨ 足場板による赤土等の流<br>出防止対策  | ⑩ 足場板による赤土等の流<br>出防止対策  | ⑩ 足場板による赤土等の流<br>出防止対策  |

73 儀間川河口 第2回調査(令和2年2月4日実施)

調査日には降雨量が15mmであったが、調査後の降雨のため平常時として調査実施

|   |   |   |
|---|---|---|
|    |    |    |
| ⑩ 前回の状況   | ⑪ ベチバーと土のうによる赤土等の流出防止対策   | ⑪ 前回の状況   |
|    |    |    |
| ⑫ ベチバーによるグリーンベルトの状況   | ⑫ 前回の状況   | ⑬ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)  |
|   |   |   |
| ⑬ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)  | ⑭ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)  | ⑭ 沈砂池の状況(オーバーフロー有り、濁りなし)  |
|  |  |  |
| ⑮ 沈砂池の状況(オーバーフローなし)   | ⑯ 管水路工事現場の状況  | ⑯ 前回の状況   |
|   |   |   |
|   |   |   |
|   |   |   |